

vol. 13

南国暮らしの会

特定非営利活動法人

2001年 会報 夏季号



平成13年 8月 1日



NPO法人 南国暮らしの会

・表 紙	比・ダバオ市・サマル島にて	No.38. 橋本 比奈子	
・目 次			1 頁
・理事長挨拶			2
・平成13年度総会議事録			3
・平成13年度事業計画書書			4
・平成13年度予算			5
・2度目のコタ・キナバル（?年後のL S実現に向けて）	No.327. 市東明義/恵美子		6～7
☆平成13年度総会後の情報交換会要旨			
・マレーシアの現状について（マレーシア政府観光局東京事務所）	徳永 誠様		8～9
・最近のタイ国事情（タイ政府観光庁東京事務所）	藤村 喜章様		10～11
・リタイア夫婦のお気軽なロングステイ	野田 敦央様ご夫妻		12～13
・セブ生活1年余とボランティア	No.27. 鈴木 博		13～14
・夢の小箱を覗いたような南国（マレーシアの旅）	No.40. 平沢 信		15～18
☆南の会企画タイ国ツアー報告			
・バンコクの偉大な親日家（Dr. タヌースさん）	No.3. 池田 徳三郎		19～20
・タイ国日本人会との懇親会	No.3. 池田 徳三郎		21～24
・本場ムエタイ（キックボクシング）を観て	No.116. 脇 龍之輔		24
・タイ旅行見聞記（医療・介護・不動産等々）	No.47. 三井田 雅俊		25～32
・タイの日本語事情	No.315. 鈴木 剛		33
・タイ国ツアーに関するアンケート			34
・パース（オーストラリア）を歩く	No.110. 藤本 靖人		35～39
・ニュージーランドの友を訪ねて	No.59. 米田 隆雄		40～42
・関東地区情報交換会案内	No.163. 宮崎 哲郎		43
・伝言・掲示板			44～45
・支部・部会伝達板			46～48
・広 告（比・クラーク・フォンタナリゾート）	賛助会員：田野瀬 博太郎		49
・広 告（比・アルカピア・クラブ・ビレッジ）	賛助会員：（株）アルカピアジャパン		50

◇平成13年度総会等のご報告について

過日の総会並びに情報交換会、そして懇親会には多くの会員のご出席を賜り、和やかな雰囲気の中に盛会裡に閉会しました。特に懇親会は終始楽しく懇親の実をあげ終わることが出来ましたことを遠地の会員の皆様にご報告し、改めてご出席会員のご協力に対し深く御礼申し上げます。

総会でご承認頂きました(1)平成12年度事業報告・決算・監査報告、(2)平成13年度事業計画・予算、(3)定款変更(理事の増員等)、(4)細則変更(関東支部の開設他)等のうち(1)にしましては、東京都に關係報告書を提出し、受理して頂きました。

(3)にしましては、關係申請書を提出しました。2ヶ月の閲覽期間経過後、東京都において審査し、その後認証される予定であります。(4)細則変更に伴い、その一部であります『関東支部の開設』について若干補足のご説明を致します。

◇関東支部の開設とご協力について

当初、国内支部は、関東地区を除き、8支部の設立を予定しておりましたが、現在、南から、九州地区、中国地区、関西地区、甲信越地区の4支部に支部長がおられ、それぞれの地域の特性を活かし、活動しておられますが、その他の地区では会員数の關係もあり、今のところ支部長がおられません(是非の自薦他薦の支部長をお待ちしております)。



平成13年度総会の一コマ

東京周辺の情報交換会、研修会(パソコン等)、講演会等は会報・インターネット等でお知らせし、地区を問わないで、ご参加出来る方を対象に実施して参りました。この度、理事の増加予定に伴い、新しく関東地区を設立し、関東在住の理事の方に支部長ご就任をお願いし、併せ各支部の連絡(ご意見の受入、お願いの調整)等のお役を引き受けていただくことになりました。理事会で宮崎哲郎理事が推挙され、ご多忙の中のところご承諾頂くことが出来ました。また、ご多忙な会報担当の足立洋太郎氏(新任予定理事)にもお手伝いをお願いすることが出来ました。

ご両者の新企画と併せ今後のご活躍を期待いたしますと共に、何卒、会員の皆様におかれましては宮崎初代関東支部長等ご両者に暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

関東地区は従来通り、会報・インターネット等で各種催しをお知らせしますが、ご参加出来る方は地区を問わずお誘い合わせの上、1人でも多くのご参加をお待ち致しております。

願わくば、各支部におかれましても、各種催しの開催予定日等を会報等に掲載出来るようご計画頂き、多くのご参加の予定が予め出来ますようご協力願えればと存じます。尚催しの要旨の報告を会報に投稿して頂きたく存じます。本来、その貴重な実績を記録保存いたし、また支部長様には理事として理事会にご出席を願うところではありますが、交通費、宿泊費、会食費等のご負担が多く、予算上実現しておりません。今後、支部長様には、理事会の開催日のお知らせ・議事録の送付を実施し、少しでも連絡を密にする予定であります。(ただし、現在理事会出席者には交通費として最高3,000円を限度と定められております。)

今後、各支部におかれましては取り纏めの労をとられる宮崎理事との間で、頻繁なコミュニケーションをより密にお取りいただき、各支部における各種催しの開催予定、会報掲載その他の連絡事項など積極的にご連絡賜りますよう、この紙面を借り、重ねてお願いする次第です。 以上

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 平成13年度通常総会議事録

日 時 : 平成13年6月16日(土) 13時~14時15分

場 所 : 東京都品川区「目黒さつき会館会議室」

出席者 : 168名(うち委任状 122名)

司会の三井田副理事長は、最新の会員総数が263名であることから本日の通常総会が成立することを説明し、本法定款第25条の規定により議長の選出について諮った。

議長の選出：菊地範夫氏が選ばれて議長となった。

議 案

第一議案 平成12年度事業総括報告および決算報告について

池田理事長が当会会報「2001年春季号」(Vol.12)記載の事業報告書にもとづき詳細な事業報告を行い、引き続き平成13年度通常総会資料記載の会計収支計算書および会計貸借対照表にもとづき詳細な収支決算報告をおこなった。続いて富永監事から、収支決算に関し当定款にもとづき正確に運営されている旨の報告がなされた。引き続き質疑が行われた後、議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第二議案 平成13年度事業計画および予算(案)について

池田理事長が前記本総会資料記載の事業計画書および会計収支予算書にもとづき詳細な説明をおこなった。質疑の後、議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。

第三議案 定款変更提案および細則変更提案について

酒匂理事が本総会資料記載の定款・細則一部改定変更(案)にもとづき詳細な説明をおこなった。質疑の後、議長は同案について賛否を諮り、原案通り満場一致で承認された。ただし委任状の意見欄に会費値上げに関し、一名の反対者があった。

第四議案 新理事予定者の紹介

酒匂理事から下記6名の新理事予定者が紹介された。

会員 No.059 : 米田隆雄、No.110 : 藤本靖人、No.140 : 小沢 努、

会員 No.259 : 菊地 功、No.280 : 小川護雄、No.315 : 鈴木 剛

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、議事の進行に関し出席者の協力を謝し、定刻14時15分に閉会を宣した。

平成13年6月16日

議事録署名人

議長

書記

菊地 範夫  
菊地 功

# 平成13年度事業計画書

・平成13年4月1日～平成14年3月31日・

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

## 1、事業方針

前年度の事業方針を継続し、

- (1) わが国のリタイアリー等（退職者）を歓迎する国々における、生活環境等について調査し、それらの資料、情報を集め、南国暮らしを推進する。
- (2) 定款変更（理事の定数増加）し、活動の充実を図る
- (3) 会員に対して、地方であろうと、都会であろうと、公平に情報が伝達する手段を構築する。具体的にはインターネット、或いはメーリングリスト、会報等多岐多用な広報手段を活用して情報の共有化を図る。
- (4) 会による仲間作り、それは、情報交換会、講習会、支部会、旅行会を通して同じ目的を持った仲間の研修、懇親を図る。

## 2、事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	事業予定場 所 内 容	備考
資料、 情報収集	南国に関する生活環境の 情報収集	常時	タイ、インドネシア、オース トラリア等	
調査、 研究	同上調査、研究、 情報交換会 及び会員の情報交換	各年4回 計8回	関東、関西各4回 及びミニ情報交換会等を開催	各交換会 40名程度 ミニは10数名
会報 発行	会報（春、夏、秋、冬）	年4回	更に充実した内容に、又会員の 投稿特集等を。	
通常総会	総会（会の運営方針、事業 計画、予算審議）	年1回 6月	東京	
資料集 発行	情報交換会、或いは会報に て発表	年2回ほど	課題を設定し、研究発表をする。	
旅行会	タイ国にロングステイ、或 いは永住出来る現地を訪問	年1回 H13.6.24～	タイ国	15名
広報活動	インターネットの利用 メーリングリストの活用 会員の募集活動	常時	会員増強の為に、テレビ、或い は雑誌等に掲載	
支部関係	関西、九州、マニラ、 ペナン等		支部活動の支援体制の確立	
支部開設	関東、東海、北海道、四国 等に支部を開設	随時	地区分けについては検討	

### (2) 収益事業

事業名	事業内容	実施予定	実施場所	予定人数	見込み額
	なし				

# 平成13年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書

・平成13年4月1日から平成14年3月31日まで・

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	前年度 実績 (A)	本年度 予算額 (B)	差異 (B - A)	摘 要
<b>I、収入の部</b>				
(1)入会金収入	324,000	210,000	-114,000	・3,000×70名 (新会員12年度108名)
(2)会費収入	882,000	900,000	18,000	・3,000×300名 (継続予定会員230名)
(3)資料売収入	125,040	80,000	-45,040	・800×100名 (新予定会員70名)
(4)寄付金収入	12,285	20,000	7,715	・実績調整
(5)基本金等利息収入	246	200	-46	・実績調整
(6)雑収入	68,260	70,000	1,740	・広告料他
1. 当期収入合計	1,411,831	1,280,200	-131,631	・I(1)～(6)の合計
2. 前期繰越収差額	28,742	508,822	480,080	
3. 収入合計	1,440,573	1,789,022	348,449	・1+2の合計
<b>II、支出の部</b>				
(1)事業費				
①会報等事業費	461,887	490,000	28,113	・年4回発行予定(補助者7名2000円×4回新規承認)
②会報等送料費	-----	192,000	192,000	・@160×300名×4回
③資料等製作事業費	184,234	180,000	-4,234	・実績調整(問合せ、新会員)
④報告書等製作事業費	-----	80,000	80,000	・規程集作成費(新規)
⑤案内書製作事業費	10,771	110,000	99,229	・新規作成
⑥内外通信事業費	33,417	100,000	66,583	・実績調整
⑦講師等謝礼費	-----	100,000	100,000	・新設(お車代等)
⑧支部関係事業費	74,400	200,000	125,600	・増額(関東支部開設予定、他)
(2)管理費				
①事務消耗品費	12,329	15,000	2,671	・実績調整
②諸会・交通補助費	108,230	200,000	91,770	・理事増員
③雑費	46,483	60,000	13,517	・理事会等の資料、他
(3)予備費	-----	60,000	60,000	
4. 当期支出合計	931,751	1,787,000	855,249	・II(1)+II(2)+II(3)の合計
5. 当期収支差額	480,080	-506,800	-26,720	・1-4
6. 次期繰越収支差額	508,822	2,022	-506,800	・3-4

やっぱりエア―は直行便、週一便の往復ダイレクト MH81、MH80(マレーシア航空)。コタキナバルへは色々な経由便もありますが、行き 6 時間、帰り 5 時間の上記便にしました。

このロングステイ(LS)計画のための調査旅行にあたり妻に話した事は、寒い冬に温かい綺麗な水と空気と風景と…があるところで、食事の支度、洗濯、掃除はさせないから(LS 実行時)、と結婚する時にも言ったことがない言葉での誘いでした。

### ☆スケジュール

2001.2.1~5 友人 5 人(25 年ほど続いている飲み仲間)でコタキナバルへゴルフに行った。

この仲間、2~4 年に一度海外旅行あり。初めてのコタキナバル。

ゴルフは次のコースで 1R プレーした。(宿泊はタンジュアル)

- (1) ステラハーバー ホテルから 20 分、街中に出島みたい
- (2) ダリッドベイ ホテルから一時間、ラサリアの隣り
- (3) ボルネオカントリー ホテルからは遠いが、コースは良い 午後 1 時過ぎプレー終了

2001.4.5~9 今回もゴルフをしながら、将来の LS リサーチ等の目的で訪問

ゴルフは次のコースで 1R プレーした。(宿泊はネクサスリゾート)

- (1) カランプナイ ホテルの前から 2 分でコース
- (2) ダリッドベイ 前述

いずれのプレーも 8 時頃スタートで午前中に終了。午後の時間がとれる。

海外 LS をしたく、昨年南の会に入会させて頂きました。私達夫婦は 12 年前から当初はフィリピンの PRA を目標とした夢計画、つまり LS を実現するため情報収集をしてきました。現在木村さんはじめ多くの方々から色々教えて頂いている状態です。中でも当会報の記事は実際の経験に基づいているので、最高の情報です。

LS は人さまさまな考え方、スタイルなどがあるでしょう。私達は夫婦二人で体験することをとても重視していますので、夫婦で好きな時に好きなことを

しようと、今回も二人で視察することと相成りました。今回も事前に「暑い所だよ！」と予備知識を与えておきましたが、現地で実際体験することで、この暑さがよく解ったようです。初日のゴルフプレイの時は弱音をはいていましたが、二日目には「暑さも慣れなのネ！」と言っておりました。LS は無理をせず、マイペースでのんびり、ゆったりする事が大切だと思います。コタキナバルが LS に適しているかどうか？という今回の体験の結論は…OK！妻も同意見でした。

### ☆ コタキナバルが LS 適地なら、衣食住などはどうか？

#### 1. 先ずは衣

暑いところだけに全く問題はなさそう。街では何でも安く手に入ります。

#### 2. 次は食

現地の人たちの食べる一般的な食堂、屋台、その他全て満足。妻も「口にあう、美味しい」と言っていました。ゴルフ場のレストランも、味、量、種類(生ビールも有)、価格、アルコールがやや高いことを除き、



ステラハーバー・ゴルフコース

言うことなし。たまには簡単に入手できるお茶漬け、干物、など日本スタイルでいってはみましたが、基本的には外食主体としました。

### 3. さて問題は住

滞在期間によって異なりますが、最低半月、気に入れば2~3ヶ月を考えています。気に入らなければ、移動すればいいと思います。本来住居を検討する順番としては、

- ①ホテルに滞在(我々も十分賃貸物件を調査する予定)
- ②コンドミニウムを借りる
- ③アパートを借りる
- ④不動産を買う

の順番でしょうが、8万円/月で十分過ぎる物件があり(調べればまだ色々ありそう)、実際に借りる段階で検討することとしました。基本的には賃貸でいこうと考えています。



ネクサスリゾートのホテルベランダより

### 4. その他のこと

時の過ごし方ですが、ゴルフを週に2~3回、近くの見所探索、釣り、マリンスポーツ、英会話など

を夫婦二人で楽しみ、単独ではガーデニング、読書などを考えています。現地の人々とのコミュニケーションも深めてみたいし、まあ現地に慣れてから徐々に実行してみます。

今回の旅行中に安達さんというコタキナバルに30年在住の方と知り合いました。ご夫婦とも日本人で我々と同年代(56歳)ですが、日本に帰るつもりはないとのことでした。我々のLS計画に興味を示し、自宅を見せてくださった上、不動産事情を説明してくれました。今後南の会にも資料、情報提供など協力して下さるとのことです。同じマレーシアでもペナンには重要な情報源があるようですが、ボルネオには拠点がなようなので、安達さんのご協力を頂いては、と思いましたがいかがでしょうか？

我々夫婦は毎年正月を将来LS希望の友人3夫婦と台湾で過ごしています。皆ゴルフが好きで、ここ5年は高雄でプレーをしています。行き当たりバッタリの旅ですので事前予約なしですが、いつもプレー可能です。コタキナバルも同じですが、コースは後者の方が遥か上といえます。ただ、高雄の正月は気候が最高です。コタキナバルはいつも夏、暑さバツグン！

夫婦でゴルフをするのに前述のダリッドベイというクラブ(ラサリアリゾートに隣接)は、年間9万円払えば18ホールのバギー代30RM(約1000円)で好きなだけプレーできます。バギーは二人乗りで、使用しなければプレー代はタダ。コースは本格的でパー72、コース管理や従業員態度、レストランも風景も全て良し。お勧めできます。

今は病気やアクシデントなど考えず、早くLSを実行したいのですが、仕事もまだ残っているので、整理しつつ視察旅行を繰り返し、3~4年後には実現したいと願っています。南の会の皆さんとは共に夢をかなえましょう！



## マレーシアの現状について

2001.6.16

講師 マレーシア政府観光局 徳永 誠

熱帯の楽園マレーシアは多様な文化、幻想的なフェスティバル、エキゾチックな料理、昔ながらの村、近代的高層ビル群が共存しております。そして、世界各地と飛行機・船でアクセスでき、クアラルンプール（KL）、ペナン、ランカウイ等の国際空港には30を越す航空会社が乗り入れております。世界第2を誇るKL国際空港は黒川紀章氏の設計によるものです。

KL空港から車で約1時間、首都KLの中心街につきます。KLの町並みは世界屈指の高さを誇るペترونラス・ツイン・タワー（452m）、KLタワー等のビル群が林立し、LRK（軽量車両移動システム）、高速移動モノレール最新の交通システム等も完成しています。他方、内陸部の高原・湖畔リゾートの山頂（キャメロン・ハイランド、ゲティン・ハイランド等）は爽やかで過ごしやすいし、熱帯雨林（ジャングル）の魅力的大自然（数々の国立・州立公園他）、南国の美しい白浜ビーチが点在しています。ペナンは島全体が観光地で国際的古いリゾート地ですが、同類のリゾートの小島は数多くあります。

### 〈マレーシアの良さ〉

マレーシアの良いところは人により見方は異なりますが、私は次の諸点を挙げる事が出来ます。

#### 1. 生活費（物価）が安い

マレーシア・リンギット（表記RM）はUS\$と連動しますが、ほぼ安定し、1RMは32～3円で動いています。日本の物価と比較して、大変安く、物によりますが、宿泊費、日用品、食料品は1/8～1/6位でしょう。賃貸住宅（アパートメントサービス・コンドミニウム等）も1週間、1ヶ月、3ヶ月、半年、1年とありますが、同一条件でも長期期間ほど安くなります。英語・現地語で契約内容が詳しく表示されますが、内容を良く確認して、契約して下さい。



説明する徳永さん

#### 2. 治安が良い

東南アジア地域でフィリピン・インドネシア・ラオス・ミャンマー・カンボジア諸国と比較して最も治安が良い国と言えます。同国はマレー系のほか三割の中国系、一割のインド系が居住、民族問題には神経質な配慮がなされています。昼間の1人歩きは問題有りませんが（スリ・かっぱらいは要注意）、盛り場（新宿・上野等の様な）では、深夜の1人歩きは避けて下さい。

#### 3. 政治の安定と経済成長

マハティール政権は81年以降、20年間の安定政権で、97年の通過危機を一応克服し、著しい経済成長（平均年7%の成長）を遂げています。現在の日本にはビジョンが見られませんが、マレーシアでは、タウザン（2020）の国家的ビジョンのもと、経済、社会の諸活動に躍動する活気が窺えます。

#### 4. 東南アジアで最も親日的

東南アジアのなかで、最も親日的な国はマレーシアだと思います。マハティール首相のルックイースト政策は20年に及びます。

#### 5. 言葉はプロウクン・イングリッシュで通用

マレー語が国語で、英語が広く使われています。また、民族ごとにそれぞれの言葉を使用しています。平均教育レベルが高く、英単語を並べるだけでも通用します。

#### 6. 趣味を生かせる場所選び

都会生活、のんびりしたローカルの生活、ゴルフ・テニス・クルージング・スキューバ・ダイビング等各自の趣味を活かした生活設計で生活する場所も異なりますが、マレーシアには多くの熱帯リゾート地、魅力的な大自然、素晴らしい海岸・島々が点在し、趣味を生かす多くの場所が沢山あります。趣味を活かした場所を選んで、マレーシアの生活を存分にエンジョイして下さい。

#### 7. 年輩者が楽しめる国

日本では昔のようにお年寄りを大切にする良き慣行が薄れてきたが、マレーシアはアジアの中でも年長者を尊敬する国の最たる国であり、特にローカルでは、村の年長者を村中で大切にする良き伝統が多く残っています。

#### 〈 日本企業の進出 〉

日本企業は約1,400社が進出しており、各分野で活躍しております。電気関係の工場が至る所にあり、マレーシアのエアコン輸出は世界第2位、あらゆる所にエアコンがあります。

#### 〈 マレーシアで何をやるか? 〉

海外で生活するためには、自らの特技・趣味を活かす方法を見つけることが大切でしょう。たとえば、語学（日本語・英語）・染色・生け花・書道・彫刻を教える。農業（花・野菜・穀物等の栽培）、IT関係の技術指導。

自らの特技・趣味を現地の人々と一緒に学ぶことにより、相互の信頼が生まれ、自らのやりがいも活かされることになる。何をやるか、何がその国のために活かされるのかを考えていただきたい。

日本はこれからも、ASEAN諸国と仲良く、より良い関係を続けることが望まれますが、その為には、相手の置かれている立場を良く理解し、同じ人間として、同じ目線で学びあい、接することが基本的スタンスであると思っています。

短い時間でありましたが、ご静聴有り難うございました。

（ 文責 池田 徳三郎 ）

### ☆メーリングリスト貝占り付け

**Subject:** [nangoku] (5週間の一人旅—その13) 南国暮らしの問題点

**危険** 異国の南国での生活を、定年前後の我々が考える場合、大まかにいって、以下のような危険がともなうと思います。用心と覚悟が、必要のようです。

- a) 既出のように、犯罪のターゲットになる確立が、日本のなじみの土地で生活するのにくらべれば、確実に増します。
- b) せっかく手にした虎の子の退職金などで、国外に、家をかう誘惑にかられ、感情にながされ、判断をあやまり、財産をうしなう愚を、犯しやすいことです。
- c) 現地で、異性と関係ができてしまい、それまでの家庭が崩壊する事例が多いことです。（色恋は、ご覚悟のうえで。）

**まゆつば** 我々凡人は自慢話は、誇張して行い、失敗や格好のわるい経験には、口をつぐむ傾向にあるのは、言わずと知れたことです。本や、テレビや、講演会や、ホームページや、メールで伝えられる情報も、同様だということ、肝に銘じておいた方がよさそうです。

**自己責任** 商売、事業、不動産売買、はたまた、介護、慈善事業、ボランティア、いずれに関わっても、ひとは、わが田に水をひこう、としているように思われます。自己の判断力と五感のよしあしが、問われているようです。

\*\*\*\*\*

下元 彬人 No.241 SHIMOMOTO/Morihito 高知県西部の農村に在住

# 「南国暮らしの会」情報交換会講演要旨

平成13年6月16日

1. 演題：最近のタイ国事情
2. 講師：タイ国政府観光庁東京事務所 藤村 喜章氏
3. 講演要旨：

## A. タイの観光事情

- a. タイへの旅行者（LS-ロングステイの人も含め）
    - \* 2000年：900万人、2001年：1000万人、このうち日本人が120万人と一番多い。
- タイ国政府観光庁事務所は東京、大阪、福岡の三カ所にあり、同質のサービスを行っている。
- \* 先の経済危機の時、世界の観光産業の成長は鈍ったがタイと韓国は例外だった。



講演者と講演会風景

## B. タイの交通事情

- a. バンコクは渋滞が激しいが、空港と高速道路(ETS)が整備されている。
  - b. バンコクは2003年完成をめぐり地下鉄建設工事中。
  - c. 2004年新国際空港開港予定。
- なお、成田～バンコク間の所要時間は約5～6時間（時差：2時間）

## C. タイの国民

- a. 開放的なので纏まりには欠けるが、最後の日でなんとか合わせるという国民性。
- b. 総人口 6000万人、うちバンコクに 650万人。95%は仏教徒。

## D. タイの国情

- a. プミポン9世による王制、政情は安定している。
- b. 日本企業は先の経済危機で停滞したが、最近また元気になってきた。
- c. 2002年はバンコク遷都220周年になる。
- d. チェンマイは安心だが、ミャンマー国境は外務省の注意喚起がある通り注意が必要。  
( Golden triangle を控えての麻薬取引 )
- e. バンコク、チェンマイ、プーケットに日本人会があり、プーケットだけで約300人とか。

## E. タイでのLS(ロングステイ)について

- a. 1998年11月から政府は55歳以上の人に対し、リタイアメント・ビザの発給を制度化した。
- b. バンコク、チェンマイ、パタヤにはサービス アパートメント、ホテル、コンドミニアムが揃っており、ホームページで独自に案内を出しているものも見られる。コンドミニアムの立地条件はいろいろある。バンコクには40ヶ所位はある。
  - \* サービス アパートメント料金：10,000～120,000 バーツ/月（3円/パーツ）
  - \* ホテル自体がLS用の部屋を準備し、ゴルフ、タイ料理などのレッスンを企画する例がある。
- c. LSのおすすめ地域はバンコク、チェンマイ、パタヤ、チャム・ホアヒンの4ヶ所。
  - \* チェンマイはバンコクと違って自然に囲まれたいわば何にもない所なので「何をするか決めた人」向き。大規模リゾート開発がなされており、ヨーロッパ人も比較的多く一年以上逗留している人もいる。
  - \* パタヤはビーチリゾートでバンコクからは高速道路で約2時間の距離にある。
  - \* チャム・ホアヒンもビーチ沿いにある王宮避暑地でゴルフが出来、バンコクからは高速道路で

約 3時間の距離にある。

- \* リタイアメント・ビザの更新（一年以上）は出来る。
- \* リタイアメント・ビザの受給者は現在まで 約 32名。
- \* ビザの健康条件は話しに聞くオーストラリアほど厳しくはないはず、病院では介護が進んで行われる国情である。

## F. 生活上の問題

### a. 気候

- \* 日本人にとって一番過ごしやすい時期は11～3月。タイでは冬、気温 27 度前後。ただし、この時期チェンマイでは朝10度以下になる。
- \* 最も暑い時期は4, 5月。4月の旧正月時は40度になることあり。
- \* 6～10月は雨期。気温28～33度。雨は断続的に降ることが多い。

### b. 言語

- \* 文字の問題もあり、タイには英語のイメージがあまりない。
- \* バンコクでは読売新聞、バンコク通報など日本語の情報が入りやすい。
- \* チェンマイやパタヤでは日常生活で日本語はまず通じない。英語では何とかかなりそう。
- \* バンコク、チェンマイは日本食ブームで日本食レストランでは日本語が通用するところが多い。

### c. 医療

- \* 病院には日本語のアシスタント(医師)が付く。24時間待機ではないが緊急時呼び出し可。これはチェンマイ、パタヤ、プーケットも同じ。
- \* 病院設備は非常に整っている。

## G. 最後に

タイ国政府観光庁各事務所には、ホテル、サービス アpartment、旅行代理店、タイ式マッサージ店、気功所などの一覧表も準備しており、皆様からのご連絡を待っています。

東京事務所：TEL 03(3218)0355、0337；FAX 03(3218)0655

大阪事務所：TEL 06(6543)6654、6655；FAX 06(6543)6660

福岡事務所：TEL 092(725)8808；FAX 092(735)4434

【文責：菊池 功；文章は藤村様にチェックして戴いています】

## ..... メーリングリスト貼り付け

**皆さん毎日暑い日が続いていますね。今日本は完全に熱帯地帯です。**

**熱帯地帯では熱帯地帯の生活の仕方が有ります。**

**しかし、日本人にはその自覚がないように感じられます。今日も何人かの人が犠牲になっています。**

**私は INDONESIA に赴任していましたので熱帯地帯での生活を経験しています。**

**一日に何回も水を浴び服を着替える**

**暑い屋間は昼寝して夜活動する**

**近い距離でもやたらに歩かない**

**歩くときはゆっくり歩く**

**これが彼らの生活スタイルです。今の日本ではこのようにするのは難しいでしょうが参考にして下さい。**

**NO. 117 龍野 宏**

**[hiro.tatsuno@nifty.ne.jp](mailto:hiro.tatsuno@nifty.ne.jp)**

# 「南国暮らしの会」情報交換会講演要旨

平成13年6月16日

\*記録担当：宮崎 哲郎

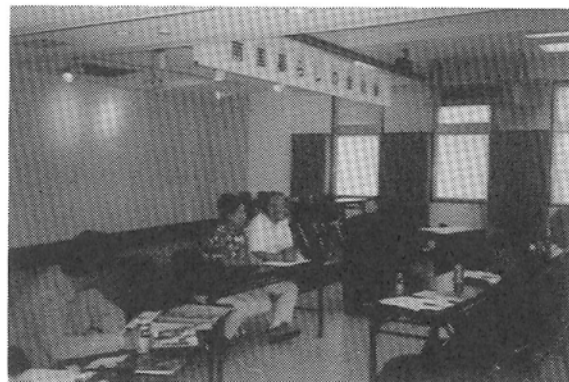
1、演 題：リタイヤ夫婦のお気軽なロングステイ

2、講 師：野田 敦央 ご夫妻

3、講演要旨

◇はじめに

リタイヤ後夫婦で、主にハワイをロングステイ先として選択し、楽しんできたが最近ペナンも訪ねて良かったのでこの2年程両方住み分けしている。



ご夫婦で仲良くロングステイ談義

1) ハワイ、ペナンロングステイ地選択の理由

①天候が良い、②交通が便利、③言葉の問題がない（英語圏）。④ストレスがたまらない、非常に心地よい。⑤食べ物が大変美味しい。等々数え上げれば限がない程メリットがある。特に食に関してはマレーシアはチャイニーズを中心に大変良かった。

⑥最も特筆すべきは日本で悩まされる花粉症から逃れられる事、成田に帰ったとたん元の木阿弥（ペナン）

⑦経済的である。日本に比べどちらも食べ物が安い。交通費はハワイでは主にバスを利用するが一般は20ドルのバスで1ヶ月間（シニアは2ヶ年間）乗り放題である。（この8月からいずれもバスの金額が27ドルに値上げされた。）ペナンはもっと安い20～30円の世界。

2) 生活スタイル

皆さん長く居て何をするのかとの質問が最も多いが、一言で「何もしない」が答え。

そうは言っても、気尽にと言うことで主としてハワイではテニス（市営テニスコートで無料）を、ペナンではコンドミニアムのプールで泳いで心地よい風を受けながらプールサイドのデッキチェアで昼寝をしたり本を読んだりの毎日。

読書は主に古本で、1冊100円の文庫本を20冊ほど持って行き、読んだらハワイでは買うところが有り売ってくる。 \* (BOOK off)

たまにはペナンで映画を観るが8MD（240円 [MD=MR=約29円]）ロードショークラスのものが観られる。

ペナンに居る時は航空運賃の安さと地理上の優位さを利用し海外旅行を楽しむ。例えばシンガポールで2泊3日マングリンホテル、往復航空券込みで3万円、タイのプーケットでも同じ条件で3万円で楽しめる。

3) 食事に付いて。

ハワイではコンドミニアムのキッチンで自炊、ペナンは朝食以外は外食がメイン。食材の多いハワイで自分の好み料理を作って楽しめるし経済的。毎日スーパーのバーゲンのチラシを見て選択して楽しんでいる、やはりどうしても「肉」中心の食事となる。

ペナンでは外食が食文化であるので此れに従う「屋台」での食事であり、美味しくて安い一言。バス代込みで大体300～500円で大満足。

#### 4) 住 居

ハワイ、ペナンともコンドミニアムを利用。ハワイではなじみの不動産業者を通じて探す。

ペナンでは、現地を訪ね観光関係の新聞広告に載っている物件を自分の目で見て決めた。

ガイドブックに頼らず自分の目で確かめ、最初は短期で泊まり延ばす方法が取れば最高。どちらももしっかりした契約書を交わしたので安心して住めた。

ペナンで今年の3月頃約3ヶ月滞在したのはCentury Bey というコンドで大変満足したところだった。空港近くの3ベッドルーム(約100㎡)家賃は3,000MD(約9万円)掃除とベッドメイキングのサービス付き。部屋以外のスポーツジム、ビリヤード、バーなどのユーティリティも充実。

ハワイでは此れに比べ、この家賃ではワンルームのものしか借りられない。この夏はハワイで三ヶ月を過ごす予定。家賃は1,500ドル/月。やはり高いし部屋の面積も狭い。夏料金とはいえ不利。ペナンでの生活費は住居費、食費、光熱費で2人1ヶ月で約20万円(交通費別)であった。

#### 5) その他

アルコールについて：ペナンは高いのであまり飲まない、ハワイでは安いのでビールを沢山飲む。

交 通 事 情：ハワイでは道路が広く運転のマナーが良く安全、ペナンはマナー悪く危険を感じる。高齢者には向いていないと思う。

総じて、ハワイには大人を感じるところがある、例えばバスに乗っても女性にはすぐ席を譲るし、他人への労わりが行き届いており大変居心地が良い。従って、経済的な面がクリア出来ればロングステイ先としては、ハワイに多くのメリットを感じる。 以上

---

### 「南国暮らしの会」情報交換会講演要旨

平成13年6月16日

\*記録担当：鈴木 剛

1、演 題：セブ生活1年3ヶ月とボランティア

2、講 師：会員No.27 鈴木 博(セブ支部長)

#### 3、講演要旨

##### ◇混沌としたセブ庶民生活

セブに住んで1年3ヶ月になりますが、住んでみて初めて分かった事がいろいろありました。日本で当然のように享受していたことが全く無かったり有料であったり、あるいは時間が掛かったりと日本の常識が全く通じない世界を経験しています。

日本で当たり前なのが当たり前でない世界があると思わないと海外暮らしは出来ないのではないかと思います。

今日はセブ生活で経験したことをお話させていただきます。

##### ◆住居探しは大変

自分の気に入った住まいを見つけるまでに転居を4回繰り返しました。いまはやっと満足できる落ち着いた生活をしていますが、住居にしる電話にしる契約の時はすべての条件を盛り込んでおく事が大事です。

また住居環境はよく調べておく事が必要で、昼間は静かであったが夜になるととてつもなく煩いとか、平日は良かったが日曜日は雰囲気が全然違うという事もあります。

電話に関しては申し込んでから設置まで6ヶ月掛りました。

#### ◆こまかい事は気にせず、気楽に生きるのがライフスタイル

- 今年5月に国会議員から末端までの大きな選挙がありましたが、1ヶ月半以上たつのに選挙結果が出ていません。
- 約束しても約束の時間には来ないのは常識で、15分、30分の遅れは当たり前です。このルーズさに自分も慣れ、いまでは私も平気で遅れるようになるのが不思議です。
- プレゼントするとその場では大喜びするが、その場限り。日本のように「先日は有難うございました」というお礼の挨拶は聞いた事がありません。
- お客さんにお茶も水も出さない。もし出されてもお客さんは飲みたくなければ飲まない。思いやったり察したりせず、ストレスをかけないのがセブのライフスタイルです。ノンストレスの世界に浸っていたおかげで長年抱えていた持病の胃潰瘍がすっかり良くなりました。

#### ◆日常生活あれこれ

商品は良く点検して買う事が必要です。例えばスーパーのヨーグルトの蓋が開いていたり、買って来た電灯がつかない事もあります。

(買う時に、店で必ずチェック)

ゴミは道路に平気で捨てるし、掃除機を使っている家は殆どありません。

物価は日本の20分の1でとてつもなく安い。



カクタウの鈴木宅前で高沢氏と

#### ◆貧富の差は階級差であり人格の差

富める人の行くスーパーと貧しい人の行くスーパーは、はっきり区分けされています。

また富める人のパーティーには、貧しい人は行かないし行けない。貧しい人のパーティーには、富める人は招待されても行きません。

#### ◆政情???

今は安定している。イスラム原理過激派にエストラーダ政権は金を渡していた。が、アロヨ政権は渡さない。アロヨ政権は、何かあったらイスラム原理過激派を潰すつもりで気構え、体制挽回しようと思っている。

#### ◆ボランティア

日本人の父親は日本に帰り、フィリピン人の母親からも捨てられ、ろくな食事も出来ず、Tシャツも靴も買えない悲惨な生活を送っている子供たち(ジャッピーノ)がいます。

フィリピン人のアグネスという女性が、ジャッピーノの子供たちを家に呼んで食事の世話したりしているのを見て、私も何か役に立ちたいと思い現在日本語を教えています。

子供たちの喜ぶ顔を見ると非常に充実感を感じるし、私を必要としている人がいる事の喜びを実感しています。

セブの生活は別の人生を送るチャンスをくれたと思っているので、これからも小さな活動から始め、子供たちを支えてあげたいと思っています。 関心のある方は、ご連絡下さい。 以上

## 旅日程と航空運賃等

昨年6月15日から7月6日まで22日間、ロングスティ地調査のためマレー半島一周の旅に出掛けた。6月23日にペナンで友人達と落ち合うまでの9日間は一人旅となった。

旅程は、成田⇨クアラ・ Lumpur⇨コタバル2泊（ここまでは航空機）⇨クアラ・トレンガヌ2泊⇨クアantan1泊⇨クアラ・ Lumpur⇨アロスター（バス内泊）⇨クアラケダ（タクシー）⇨ランカウイ2泊⇨ペナン4泊（フェリー）クアラ・カンサ⇨（マレー鉄道）⇨キャメロンハイランド3泊⇨クアラ・ Lumpur3泊⇨マラッカ2泊（急行バス）⇨クアラ・ Lumpur1泊（空港ホテル）⇨成田。

上記旅程の、ゴシック書体は宿泊都市、明朝書体はバスを下車して観光したが、宿泊はしていないわゆる通過都市を表示。

成田⇨クアラ・ Lumpur間はマレーシア航空の35日間往復格安フリー・チケット6万3千円。クアラ・ Lumpur⇨コタバル間は国内線使用で片道104マレーシア・リングギット（約3千円）。1マレーシア・リングギット（MR）は29円。

マレーシアと言えば普通クアラ・ Lumpurやペナンをイメージする人が多いことと思う。が、しかし、今回は、東海岸を廻ったことでマレーシアの人々の生活の様子が実感できた。

マレーシアの人々は一般的に性格が明るく、おおらかで、場所によっては素朴で親しみやすい印象を受けた。国教がイスラムと言うのは意外な感じがするが、多民族国家がともに暮らすための知恵と選択だったのでしょうか？イスラム教は私の好みには合わないが、治安が良いというこの国の特質に「宗教を持っている」ということが無関係ではないような気がした。

マレーシアでも、マレー半島西海岸側（ペナン、イポー、クアラ Lumpur、マラッカ等）と、東海岸側（コタバル、クワラトレンガヌ、クアantan等）では経済や文化面でかなりの違いがある。西海岸側は近代化され豊かで洗練された感じがするのに対し、東海岸側にはマレーシアのシンプルで素朴な人々の暮らしの原風景を見ることができた。

## コタバルの巨大ナイト・マーケットは庶民のダイニング

最初に着いた都市コタバルの名物は、何と言ってもナイトマーケットの屋台だと思う。毎日夕方5時頃になると、巨大なマーケットが立ち並び、肉、魚、揚げ物、ご飯、煮物、果物からお菓子の類まで何でも揃っていて、人々は仕事の帰りに、自分の台所代わりにそこで夕飯を食べ、家族の分は、棕櫚の葉しゅうろに包んで持ち帰っている。マーケットの掛け声と調理の熱気は旅人と言えども盛り上がりしてしまう。

料理のお味のほうは南国のせいかわ少し油っぽく、味付けが濃く感じられたが私ば結構おいしく頂いた。日中日本人観光客に1人も合わなかったのも異国にいる感じがして嬉しかった。ただし、ナイトマーケットでは「ヒェーこれみんなオカズ？」と言う日本語が聞こえたところをみると何人かの日本人はいたと思う。因みにこのマーケットや屋台で食事を取れば1食150円もあれば食べきれないほどのご馳走が食べられる。コタバルへ着いた翌日が金曜日でイスラムの規則により、銀行もお休みのため両替ができず、コタバル一番の高級ホテルで食事を取ったがVISAカードの支払い額は470円とか530円という小額で済んでしまった。後日私の口座からコタバルダイヤモンドホテルより470円・・・といった具合に引き落としがあったのであの物価は夢ではなく本物であった。

コタバルで泊まったホテルの隣が国立イスラム寺院である事は知っていて泊まったのだが1日4～5回に及ぶお祈りには心底参ってしまう。日中は哀愁を帯びたその呼びかけに旅情をそそられたのだが、朝の6時前からスピーカーでガーガーやられたのには心臓が止まりそうであった。そのせいかわか



からないが、ホテル代がガイドブック表示の1泊(S [シングル])で78MR(2,262円)のところ、何と2泊で65MR(1,885円[1泊は942円])と言うではないか! 1日分の誤りか?とも思ったが請求書には2泊と確かに書いてあったので、深く追求せずに請求書どおり支払ってホテルを後にした。

前述のように金曜日はイスラムの休日にあたることから、交通機関なども大幅に変更になることがあるのでコタバルへ行かれる方はご注意を!

### 雲助タクシーに乗る

このため、コタバルからクワラトレンガヌへ行くはずのバスが当日は出なくなつたため、3時間もタクシーに乗る羽目になった。せっかくホテル代で稼いだと思つたお金をバスで行けば7,40MR(214円)で済むところ、運転手との懸命の交渉にもかかわらず、80MR(2,320円)もとられてしまった。日本の物価から考えれば3時間も美しい海岸線を走つたのだからいいではないかとも思う。が、やはり、かなり忌々しい気分であつた。また運転手君が交渉中しばしば口にした「日本人なら大丈夫」という言葉が後々まで引っかかった。あの時どう対処すれば良かったのか今だ結論が出ていない。

### 人々の暮らしの原点に出会つた

大金遣つてたどり着いたクアラトレンガヌは、セベランタキールというひなびた漁村が特に気に入つた。海と空は青く、家々は窓が放たれ、海風が入るにまかせて日中の暑い時間人々はトロトロまどろみ、シュロや椰子の木の下では、ヤギと猫と鶏と一緒に餌を啄ばんでいるのどかな風景を見て、懐かしいような、嬉しいような不思議な気分が足腰が痛くなる程どこまでも歩いた。ホントに飽きない風景であつた。物価の安いこともお気に入り。

因みにコタバルを振り出しに、ペナンで友人達と落ち合うまでの東海岸9日間の諸費用(ホテル代、乗り物代、食事代等)は約2万円弱ですんだ。1日に2千円ちょっとの計算になる。物価は日本の5分の1以下でしょうか。

コタバルで5万円両替した折、マレーシア・リングギット(MR)が山のような札束で返つてきたため、その場で数えるのに難儀しているさまをみて、両替で居合わせたカナダ人に注意された。日本では5万円は何でもない金額でしょうが、この国では大金(大卒エリートの月額が3万円程度)、自分は両替するとき、多くとも1万円以内にしている・・・と。

知らぬこととはいえ、恥ずかしながら私はコタバルで札ビラを切つてしまった。両替したお金は友人達とペナンで落ち合った後も日本へ帰国するまでお小遣いとして使えたことは言うまでもない。

### 日本車の洪水クアタン

クアタンは、ここがマレーシアかと眼を疑うほどの近代都市であつた。オートバイの殆どが日本製、車も半分くらいは日本製だったように私には見えた。巨大な美しいモスク以外はあまり見るものとなない喧しい街だ。

しかし、ここで少し冒険をして見たくなり、ガイドブックには載っていない安宿に泊まってみた。安宿の最高級の部屋をゲット・45MR(約1,300円)。立派なものです。広いシャワールームと清潔なトイレは言うまでもないが、WとSのベッドが2つ入っていて、窓からの眺めも美しく申し分がなかった。しからば安宿とはどんな部屋なのか興味をそそられた。私のすぐ後に、見るからにバックパッカーらしき180cmはあろうかと思われる大柄の若いアメリカ人女性2人がやって来て、ニコリともせず、2人で20MR(580円、なんと1人290円ではないか)と言ってキーを受け取り部屋へと消えた。2人で20MRの部屋を見せて欲しいとフロントに頼んだら、「今空いてないから見せられないが、貴方のほかに日本人がもう一人泊まっているので、彼が外出から帰ったら見せてもらってはどうか

・・・彼はヤングマンで、名前は健太郎・・・。」私はデングリ返りそうにビックリした。私の甥の名前と同じであったからだ。若い甥がこの宿に泊まるのは相当としても、年配の叔母たる自分も一緒にいいものかと少しの逡巡があった。フロントでは私のことも健太郎君に伝えたらしく、夕食後彼のほうから私を訪ねてきた。健太郎違いであった。ホッとしたような、甥であって欲しかったような一瞬複雑であった。甥の健太郎よりも更に若く25歳のその若者は、一生懸命働いたお金で、向こう2年間旅を続けるとのことであった。この初対面の若者とバーでこっそり買ってきたビールを飲みながら、旅について、人生について、夜の更けるまで語り合った。

旅から帰った私宛に、今も彼からのメールや絵はがきは続いている。ついでに彼の1泊20MRの部屋を見せてもらったら、何と刑務所のようなであった（しかし、私は刑務所に入った経験はないが）。窓は廊下側に一つあるだけで暗く、シャワーもトイレも共同のことであった。それでも彼が泊まる部屋にしては立派な方だと言っていた。どんなに旅が好きでも、私にはもう体力的にそういう旅は出来そうもないと少し寂しい気持ちになった。

クアantanにさらばをして、クアラルンプールまで急行バスで4時間、昼食付の快適なバスの旅であった。バス代は12.20MR（585円）。クアラで1泊する予定であったが、バス時刻を確認するとガイドブックに記されている時刻表の半分ほども出ていないため、やむなく夜行バスを利用した。

クアラの暑さと喧騒にいささかバテたので夕食は日本料理店（竹葉亭）へ行き焼き魚定食を食べた。ビール代込み48.80MR（1,440円）はマレーシアにあってはかなり高い食事代であった。でも、夜行バスに備えて夜10時頃まで奥の畳の部屋でお茶のサービスを受けながら休ませて頂いたことは有難く、見ず知らずの私への親切は、同朋の日本人としての血が呼んだのであろうか？

### 凍死しそうな急行バス

マレーシアのバスはどのバスも冷房がきついが、クアラからのバスも凍死しように冷房が効いていた。アロー・スターへの5時間の旅バス代21.20MR（614円）。ガイドブックと全然違う（かなり便数が少ない）時刻表にご注意を！ 夜行で突っ走ったため、アロー・スターへは予定より2時間も早く早朝の4時に着いてしまった。クアラケダからランカウイへのフェリー乗り場まではタクシーしかない。運転手は20MR（580円）と言っている。私は「ガイドブックには12MR（348円）と書いてある」と言う。「それじゃそれで良い」とのことであった。ホントに油断がならない。体力のあるうちは料金交渉も面白いが、疲れてくると苦痛になってくる。

しかし、まだ明けやらぬ薄暗い道をひた走ってくれる痩せた若い運転手の背中をみて232円得するために値切って良かったのかどうか、どうも気分が晴れ晴れとしない。

### ランカウイは夢の島

クアラケダからランカウイまではフェリーで1時間。ペナンと違って観光客は少なく素朴で美しい島であった。沢山あるホテルの中で、私は中国人経営のロッジ風の宿に決めた。真前が大海原。しかし、誰一人泳いでいない。なぜ誰も泳がないのかフロントに聞いたら、「なぜ誰も泳がないかは分からないが、あなたが泳ぐ分には何の問題もない」との答えであった。こんな上天気の下下がりもったいないと張り切って泳いだら見るうちに肩の皮膚は赤く腫れて火傷状態、顔は酒吞童子のようになった。午後4時過ぎ、どこからともなくソロリソロリと海に人が現れた。日本流のセカセカここでは通用しなかった。私の他に日本人が2人いた。若い女性とリストラされたおじさんと3人で、その夜潮騒を聞きながら地ビールを飲んだ。仕事一筋のリストラおじさんの身の上話を聴きながらのビールの味はほろ苦かった。ランカウイはロングスティするには少し寂しすぎると思った。

### ペナンは東洋のハワイ？

私はまだハワイに行ったことがないので比較はできないが、ペナン在住の人々はハワイよりも良いところと言っていた。ペナンの浜辺は雄大で、夕陽の美しさは例えようもない。ホテルの料理も外国にいることを感じさせないほど行き届いたものであった。難点を言えば、①日本人が多いこと。②ホテル代等も含めて物価がかなり高いこと等であるが、ロングスティ地を探している私にとって、乏しい予算で生活出来ない所は対象外である。当研究会のメンバーで安価なアパート等の情報をお持ちの方はお教えいただきたい。

## キャメロンハイランド

日本人のロングスティ・ヤーが、既に毎冬スティをしていると言うので訪問してみた。高原の空気は澄んでいて美味しく、人々は親切であった。しかし、都会でしか暮らしたことのない私共にとって、果たしてここで長期に生活出来るのであろうかと、いわれのない不安がよぎった。人の好みはそれぞれ違って当たり前であるが、私はキャメロン高原の風景よりも、海岸沿いの海の見えるところの方が好ましく思えた。泊まったストロベリー・ホテルの風呂のお湯の出が悪いと言うのもちょっと気になった。

ペナンからキャメロンへ向かう途中のマレー鉄道の旅は素晴らしかった。マレーシアのバスは道路もよく整備されていて、運賃も安く（どんなに長時間乗っても1,000円未満）快適であったが、マレー鉄道もなかなかのものであった。

## 住むならやっぱりクアラ・ Lumpur か？

マレー半島1周の旅もクアラルンプールとマラッカを残すのみとなったが、クアラルンプールは近代都市としての発展を遂げている中にも、マレーシアらしさがそこココに見られて親しみを覚えた。高級レストランあり、屋台あり外国への足場もまあまあで、ロングスティするならクアラルンプールかな？と心が動揺した。この間のことを紙面にしますと大レポートになってしまいますので、印象に残ったマレーシアを下記に纏めてみます。

- ①日本人に良い印象を持っているらしく、親切で殆ど不快な思いをしなかった。ただし、日本人はお金を持っているから寄ってくるという面もあり、タクシー等に乗車の場合は油断禁物。
- ②地の果てまでも英語が通じる。
- ③一般的に食べ物が油っぽい。ただし、南国特有の果物ランプータン、マンゴスチン、ライチ等はどこで食べても美味しい。
- ④バス道路の整備がよく高速バスで国内なら殆どどこへでも行ける。ただし、このバスの冷房は例外なくきつく、気をつけないと風邪を引く。足がシモヤケになるのでは・・・と心配するほどだった。（後でガイドをしている人に聞いたのだが、マレーシアは四季がなく、いつも暑いので、クーラーで冷やすことが、最高のおもてなしと考えているとのこと。一番ひどいと思ったのは、この南国の浜辺の朝、隣のロッジの窓ガラスが結露していたこと。）
- ⑥女性の大半が頭にスカーフを被っているのは異様に思える。被っている女性達も、これは変だと思わないところが、やっぱり変だ！
- ⑦イスラム教はこの国の民主化と発展を妨げている。

## 雑感として

それにしても旅行中の日本人（特に男性）のマナーの悪さ（①酒を飲んで大声で騒ぐ。②一緒のツアーの人達以外は挨拶もしない。③エレベーターのドアを抑えてもらっていても知らんふり等々）には閉口した。『これが日本流』とお考えのようですが、よその国にお邪魔していると言うことを忘れないように行動したいと、自分自身も含めて改めて思ったことでした。まだまだ日本人は遊び馴れていないのでしよう。

以上

## 南の会企画タイツアー報告(1)

バンコクの偉大な親日家

Dr.PRAT BOONYAWONGVIROT M.D.

### (Dr. タヌースさん) の ご 功 績

会員No. 3 池田徳三郎

海外旅行、ロングステイの際、予測できない災害、病気を気にする人、気にしない人、また、旅の疲れで体調を崩し、下痢、細菌性赤痢、ウイルス性肝炎等病気を心配する人、しない人。しかし、人は生命・身体の危険と常に対峙すると最近思うようになりました。

今回のタイ・ツアーはバンコクの病院見学を予定しておりました。バンコクには、国公立の病院と私立の病院があり、一般に国公立の病院は診療・治療費はほぼ一定で総じて安く、多くの患者で長時間待たされる。他方、金持ちは私立の病院と言われています。

バンコクで、「日本語の通じる病院は、5ヶ所ある」と旅行ガイドブックに書かれてあり、朱書した。なかに見学予定の病院の名がありました。

その病院名は「バムルンラード総合病院 (BUM RUNGRAD Ho.)という、バンコク屈指の私立病院。高速道路の側の大道路に面した交通至便な場所にある9階建てのホテルの様な美観の病院です。

#### バムルンラード総合病院の概要

ベット数 540ヶ、常勤ドクター数100名

施設 9万M2 (新館)、非常勤ドクター 多数  
看護婦・同助手 1,400名

屋上 ヘリポート (24時間救急サービス)

日本人受付 (デスクに「日本語通訳」の横標識

がある。)若い女性が流暢な日本語で対応する。

日本人向けサービス・コーナーが常設、医療に関する日本語パンフ多数あり。例えば、アイ・レーザー屈折矯正手術に関しA版5ページ、Q & A形式24項目の日本語説明書

(注) 三井田氏と私はバ総合病院訪問の予定日時

に日本語学校(塾)を訪問したため、翌日に訪問、日本語のお上手なDr. タヌースさんと面談の機会を得た。

#### Dr. タヌースさんと院内見学

ご多忙な同博士には、貴重な時間を私たち3人のため、9階から1階まで丁寧に案内していただきました。各階の係りにキイを持たせ、各部屋(集中強化治療室-成人病・心臓病・小児科等、豪華なロイヤルルーム、19の手術室等)を開け、各階の特徴を懇切に説明され、当該病院(タイ)の高医学水準・医療サービスおよび最新医療設備の充実を私たち素人に如何に理解させるかに真摯に配慮され、特殊な専門分野は別として、欧米留学のドクターを集め、日本の医療水準に劣らないことを説得なざるスタンスに敬服しました。

途中の階で日本医科歯科大学 医学部卒の女性のDr. を私の後任と紹介された。同女史は診療中のところ、別室で流暢な日本語でご自身のご専門分野等の話をされました。

医学に関し、全く無知の筆者もDr.タヌースさんの真摯なご説明に、安心して治療を任される医者と先端設備そして優しく親切なナースとコンピューターによる事務管理が整備された優れた病院であることが理解出



バムルンラード総合病院の全景



日本人受付カウンター



## 南の会企画タイツアー報告(2)

### タイ国日本人会との懇談会

会員番号No. 3 池田徳三郎

タイ国日本人会（JAPANESE ASSOCIATION IN THAILAND）は今年88周年を迎え、後記の通り、古い伝統と輝かしい業績をもつ日本人会であります。同会館はバンコク市内のチョンノンシー駅の側にあるサートタニビル1階にあり、会員数約9,700名（駐在員80%を占める）、会報「クルンテープ」は毎月発行しております（編集委員14名）。

#### 〔懇談会要旨〕

開催日時 2001年6月23日 12:00～14:30

場所 インペリアル・クイーンズパークホテル（宿泊先）スペシャルルーム

出席者 タイ国日本人会

川満富子（前事務局長）、田村優子（事務局長）、広瀬義夫、日高朝代、  
中村伸子 以上5名（敬称略）

#### 南国暮らしの会

池田徳三郎、大貫高弘、小野藤夫、島田伸明、鈴木剛、園田ご夫妻、併せ両会  
原田亜実、松岡ご夫妻、三井田雅俊、柳川レイ子、バンコク等ロングステイ  
の井上ご夫妻 以上14名（敬称略 アイウ順）、脇ご夫妻はその夜到着。

初めに、三井田副理事長より「南国暮らしの会」の概要、この度のツアーの目的等について説明し、この懇談会の趣旨説明を述べ、次いでタイ国日本人会を代表して田村事務局長より歓迎のご挨拶があり、さらに池田理事長より、同日本人会のご出席に対し、謝意と両会の友好と情報交換等の希望等を述べた。その後、昼食と共に懇談に入る。三井田副理事長の司会で自己紹介があり、また、同司会者から、両会の友好関係、情報交換、会報の相互交換等を再確認した後、タイ日本人会5名の方の各スピーチ（後記）がなされた。その後、各自それぞれ個別に懇談、スピーチに関する質問、今後の個別友好の確認等をし、惜別のうちに散会した。三井田氏のタイ・ツアーの企画の素晴らしさに参加者の多くから謝意が述べられておられますが、改めて御礼申し上げます。



タイ日本人会の方々と

タイ日本人会5名の方々のスピーチの概要はつぎの通り纏めることができます。

#### タイにおける日本の評価と日本語ブーム

タイにおける日本及び日本人の評価は総じて高い。

GNP世界第2位、アジアの先進国、日本の大企業の社員とその生活等々を良く知っているからです。タイの人々の中では、日本の友人を持つことを誇りに思っている人が多い。

今タイでは、「日本語ブームが進行中である。」と言えますが、その傾向は97年の金融危機（バークレーの暴落）後、国策として日本企業の誘致とそれに伴う日本企業の進出の増加と関係するように思えます。そして日本語を修得し、日本企業並びに日本関連企業に就職すると確実に給与がUpします。現在日本企業は約1,400社位、日系関連企業は約2,000社と推定されます。

その1例として、高校で日本語を教える学校が毎年増加しており、今まで日本語を教えていた高校は約120校でしたが、昨年180校、現在200校位に増加したと言われております。他方、大学受験科目（英語、フランス語、中国語）に2～3年前から日本語が追加されたことにも窺えます。

日本語の教師はタイの有資格者が担当しておりますが、公・私立共にネイティブスピーカーを求めております。採用条件はそれぞれ異なりますが、いずれも給与は安い様です。資格は特にないと聞いていますが、日本人で正規の日本語教育の資格を持った人が有利でしょう。

### 男女同権の徹底したお国柄

現女性大臣の数は少ないが、職場における男女差別は全くないと言えます。一部では男性より女性のほうが信用され、仕事に対してねばりがあり、再就職が難しいため、責任をもつて、頑張ることが、社会的に評価されています。また、タイは幾つかのタイ族から構成されますが、一部の民族には女性が家を継ぎ、守る伝統的風習が残っており、良く働きます。

### 共働き

タイの女性は総じて男性よりよく働く、多くのサラリーマン家庭は同職種で共働きをして、結婚後も可能な限り、働く傾向にあります。メイドも子供を両親に預け、メイドその他の仕事をしている例も見られます。

### 学 制 等

1. タイの学校制度は日本と同じ6・3・3・4制（修士課程2年、博士課程2年）

私立 幼稚園 から英語を学習（英語、その他外国語の修得は収入Up）

公立 小学4年から英語を学習

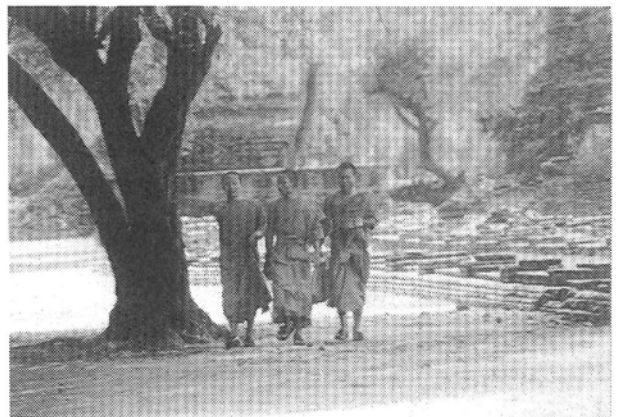
2. 留学の希望国 欧米志向は強い（英・米・仏等）。日本留学は日本語が難しく、大学の講義、卒論文に大変苦勞する等の基本的ハンデを持ち、医療、科学技術等の各分野の留学希望者が欧米に比して少ない。

### 兵 役・僧 籍

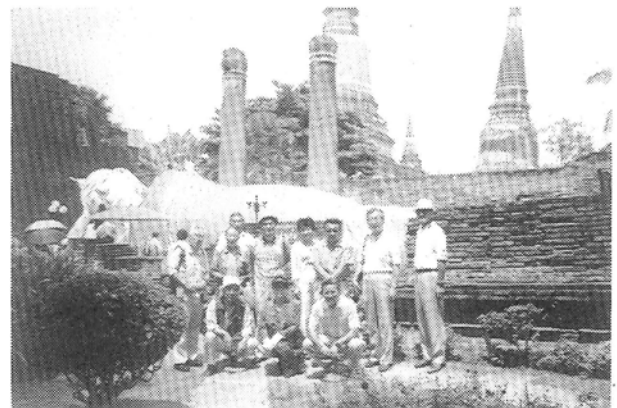
1. 兵役 21歳になると、徴兵制が適用され、兵役に服す。兵役は該当者からくじで決めますが、金持ちの多くはコネその他で兵役を免れる事が出来るとも言われています。
2. 僧籍 男性は結婚前に寺で修行し、僧籍に入る慣習があり、（僧籍に入ると 両親が長生きする。）女性は僧籍を持つことが出来ないの、奉仕活動をします。

### 給 与 等

公務員の給与は一般的に企業のサラリーマンのそれより安い。教師も時間外補習等のバイトが



修行中の僧たち



アユタヤの釈迦涅槃増

恒常化しています。

- 大学卒の初任給 7,000～ 8,000 バーツ
- 同 (技術系) 10,000
- 同 (医師系) 12,000～ 13,000
- お巡りの給与 5,000～ 6,000
- メイドの給与 3,000～ 5,000 (最近パートのメイドが多くなる。)

また、最近ミャンマーその他からの不法就労が多くなっています。

就職に関しては大学を卒業しても、気に入った就職先がないと就職しないという「のんびり」したところがあります。コネ就職は残っているし、人脈就職は個人企業が多い。

## 住 宅

バンコク市中心街のコンドミニウム・アパートメントは、2 LKで1,000万～1,500万バーツ (3,000万～4,500万円)、郊外では、700万～800万バーツ、更に離れると400万～500万バーツとお安くなります。購入に際しては、初めは借家住まいをすると良い。周囲の生活環境、電気・ガス・水道・補修の条件等を調査できます。2～3ヶ月間ホテル住い等をして、よく現地の新聞・雑誌等を調べ、知人・専門家の話し、不動産取引の慣習等も良く調査研究し、十分に納得してから購入して欲しい。外人向け悪徳業者に注意。

(参考)「アパート・コドミニウム名選」ばんこく住宅情報KK,2001.4. 発行、400Baths、

A4カラー版、240ページ、日本語・英語記載 (外人向け)、タイ人向け多数あり、現地入手

## 交 通

- バンコク市内 7時～9時 ラッシュ・アワー (渋滞は東京以上のノロノロ)
- \*タクシー (メーター付き、2KMまでB35、500MにつきB2)
- 三輪車 : 庶民の足 (タクシーより安い、都度話し合い)
- バイク : 庶民の足 (三輪車より安い、都度話し合い)
- \*バス : 3種類 (エアコン付きB20、同なしB3.5、B2.5)
- \*スカイトレイン : 10から35バーツ
- \*地下鉄 : 2004年開通予定

## 物 価

- 車 トヨタ・カローラ : 40万バーツ (輸入品は高い)
- スーパー ミルク (200ml) : 8バーツ、水ボトル (500ml) : 7バーツ
- トマトジュース : 13バーツ、カップヌードル : 13バーツ
- 歯ブラシ : 25～50バーツ、アイスクリーム : 10～15バーツ
- ヘアカット : 150から180バーツ

## 病 院

バンコクには日本語の通じる大手の私立病院が5カ所あります。全般にみて、国公立の総合病院は安いですが、大変混雑している。金持ちの多くの人は、設備のよい私立病院に行く (私立の総合病院について別稿参照)。

\*\*\*\*\*

## タイ国日本人会

泰国日本人会 (玄関の看板記載) は今年創立88年を迎える。

創立80周年記念事業として現在の会館を購入。(大手商社、企業の協賛)

- \* 会長 石平厚一郎、 \* 副会長 高部・須藤他2名
- \* 会員数 9,700人弱 \* 年間予算2,157万バーツ
- \* 組織 総会、理事会、三役会、13部、5つの基金運営委員会、5委員会、



事務局 が活動

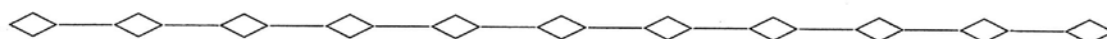
1.3部 総務部、会計部、事業部、厚生部、文化部（13の同好会）、運動第1部（ゴルフ）、運動第2部（12の同好会）、婦人部、クラブ部（食堂、子供図書館等の管理）、会報部、教育部（泰日協会学校・日本人学校等の協力）、青少年部、広報部

注）文化部の同好会例…俳句・短歌・将棋・囲碁・コーラス・歌謡・陶楽他

5基金運営委員会 チャリティ基金運営委員会、厚生基金運営委員会、納骨堂基金運営委員会（将来納骨堂改築寄付、毎年の積立等）、会館・クラブ基金運営委員会、カンチャナブリ基金（戦時の慰霊塔管理）

5委員会 運営協議委員会、連絡網整備・安全対策委員会、食堂運営委員会、広報・文化協議会、日タイ交流ラムウオン・盆踊り実行委員会

（出所）同会会報「クルンテープ」2001 May Vol.9(400)より。 同会報は毎月受送予定



## 南の会企画タイツアー報告(3)

### 本場ムエタイ(キックボクシング)を観て

会員 No. 116 脇 龍之輔

バンコック5日目、自由行動日の昼間、郊外の水上市場でボートでの買い物を楽しみ、夜いよいよ期待のムエタイ観戦となった。

午後6時ガイド君の案内で、ムエタイ好きのワイフを連れて、市内のランジャダムナンスタジアムに向かった。バンコックでは他にも一箇所スタジアムがあり、連日10試合も熱戦が行われている。3rd イベントに到着、観客約3千人の場内大観衆の中、幸い最前列から2列目、打ち合う選手の汗をまともに受ける場所だ。 迫力満点！！

キックボクシングは日本でもおなじみ、試合は日本と大体同じで1ラウンド3分、5ラウンド制、インターバルは2分である。 膝蹴り、ミドルキックの評価が高く、パンチやローキックの判定評価はあまり高くない。

ムエタイはタイ国技であり、アユタヤ王朝時代ビルマとの戦いに敗れ、戦士の士気を高めるために始められた。 現在タイ一番の人気スポーツで、5歳頃より練習を始め、14～16歳の選手が一番多く、その後強い選手はインターナショナルなプロボクシングを目指す。

熱闘はともかく、試合前に独自の演奏と共に演じられる踊りワイクルー(師匠や両親などに捧げる闘いの舞)に、日本では感じられない地方色の豊かさと神聖さを感じた。

是非バンコックではムエタイ観戦を。

参考：リングサイドは1,000Bt 上下あり、サンダル、短パン、Tシャツは駄目。 特に女性が選手に触ったり、リングに上がることは厳禁。 場内では多数賭博が行われているが、観光客の参加は難しい。

南の会の14名の皆様方と一緒にタイのバンコック、アユタヤ、そして北にあるリゾート静養地チェンマイで8日間(6/24~7/1)の旅を楽しんでまいりました。旅行案内書には載っていない様な興味あることについて、お話しさせていただきたいと思います。

☆ K.H.FANG

この方は台湾生まれ、60歳半ばの中国人で、中国名は范(ハン)とお呼びする。若いときに日本に留学のご経験もあって、大変格調の高い日本語を話される、知性豊かな文化人です。現在はバンコックで国際旅行会社の役員をされておられます。

范さんのお話しによりますと

- (1) タイは数年前に観光立国をめざし、ストリート・クリーン法(規則)を設定しています。ポイ捨ては500BT(1,500円)から2,000BT(6,000円)の罰金が課せられます。そう言えば他の南国で見られる様な道路脇のゴミの山は全く見られませんでした。治安もかなり良好のようです。チェンマイでお会いした日本人の方のお話しによりますとチェンマイで夜、暗いところを歩いても全く危険を感じたことはない、と言われました。

この方は例の著名なマニラに近い老人ホームに入居しておられましたが、住居と環境に種々不満をもたれ、一年前よりチェンマイに移り、豊かな老後の生活を楽しんでいらっしゃいます。

- (2) タイの道路事情は日本のレベルからいえば、まだまだ数十年遅れています。バンコック市内の歩道ですら、町を中心から少し離れると凹凸があり歩きにくく、横道に入ると歩道の上に我が物顔で自動車の駐車が見られます。高速道路での高速バスの中では全く字が読めない程揺れます。

私は旅行案内書に書かれていたバンコックの有名なラッシュアワーと排気ガスが、大変気になっていました。実は数年前北京の大通りでの物凄い排気ガスに、思わずハンカチで口を覆った経験がありましたので。でも渋滞は朝の東京の高速道路で都心に向かう程でもなく、排気ガスも気にすることもありませんでした。聞くところによると、自動車の新車の価格は日本より3~4割高いようですが、中古車の価格が随分高いそうで、このあたりに自動車のメンテナンスの良さが影響しているのかもしれませんが。

- (3) 昨年度の海外からのタイ・ツアー客は合計960万人でした。陸続きのせいもありマレーシアがNo.1で300万人、日本からは120万人。バンコックのホテル、レストラン、殊に免税店ではわが同朋日本人をよく見かけました。次は香港と中国から100万人、台湾からは70万人、欧米からはイギリス人が最も多く、次いでアメリカ人、ドイツ人、フランス人の順で、欧米人合計は100万人以上との由です。観光収入なしでは、多分タイ経済は成り立つのが難しいのではないかと思います。

タイ経済は1997年のバブル・ショック以来、まだ完全にはその勢いを取り戻しておりませんが、ここでやっと年率2%程度の経済成長率に戻っています。

- (4) タイ経済の80%はタイ人口の10%の中国系の人々がコントロールしています。タイ北部の山並みの国境を越えると、そこは中国の雲南省です。タイの学術文化、資本、ビジネスでの中国人の影響の大きさには驚いています。後述しますタイNo.1のバムルンラード総合病院の元副院長タヌースさん(昭和38年東大医学部卒)と、同病院で検査部の責任者であると同時に日本人の医療サービスを担当しておられる女医のアンチャナーさん(東京医科歯科大学卒)はお二人とも、「私は中国人の血をひいています」と、大変誇

らしげにおっしゃっておられました。タイの中華料理はフィリピンやマレーシアのものとは比べても、格段に美味で、正統の中国料理でした。

- (5) 社会資本については、まだ資本不足が著しく、前述のようにインフラ整備は不十分で、バンコック市内を走る2路線の高架電車(BTS スカイトレイン)は主に日本からの ODA(海外援助資金)で作られ、また今着工しているバンコックの地下鉄も日本の ODA が頼りのようです。

そのような事情の中で、ハイクラス総合病院への多額の投資は驚きです。例のバムルンラート総合病院への投資はタイのバンコック銀行を中心とした国内資本と海外からの借り入れによってなされました。元副院長のお話によると投資総額は 100 億 BT(300 億円)にも及ぶそうです。医療費の国家支出は総額年予算の 23.5%にもなっています。タイ国における国家と民間の医療への肩入れはひとかたならぬものがあります。

- (6) 私共のタイ旅行の数日前に、会員の方々からのご要請で、介護について政府関係者との話しあい、そして日本語学校の経営の実態を見学したいという急な話を范さんにお願したところ、厚生大臣との話し合いを設定して頂いたのには驚きました。もっとも大臣は当日所用のため、代わりに国会の副議長(国会の厚生医療委員会の委員長)が3人の看護婦、介護担当の女性幹部と一緒に御出席頂きました。



厚生省の方々と

范さんの人脈の広さと誠実なご性格にはほとほと感心致しました。

## ☆ タイの病院と介護について

この項はタイ厚生省での話、バムルンラート病院の元副院長タヌースさん、そして范さんの御意見を含めてとりまとめました。

タイには 24 の大学があります。その内、4 大学が日本の東京大学、京都大学、山口大学、東京水産大学との間に 6 つのプロジェクトによる大学交流を行っています。医学部は 9 校にあり、毎年 1,500 名の医学生が卒業しています。

- (1) 最近のアメリカの雑誌で特集された“世界医療事情”によると、驚くなかれ、世界 No.1 はタイだそうです。No.2 はアメリカ、日本は 6 番目だそうです。日本の医療技術は非常に高いが、医療サービスが非常に低いと評価されていたそうです。タイでの医療事情調査は、タイ No.1 のバムルンラート総合病院での評価が高かったのではないかと思います。また後で述べますが、タイ王室の慈善的医療活動が高く評価されたのでしょう。この病院には私共のツアー会員の方々も訪問しておりますが、全く“素晴らしい”の一言につきます。

バムルンラート総合病院は 2 年前に改修されました。

○ベッド数は 540、常勤の医者 100 人、大学の教授クラス 600 人と顧問契約を締結、看護婦および看護助手 1,400 人、ほかにその他事務員

○3階の外來受付には“日本語通訳”と表示のあるデスクもあり、達者な日本語を話す若いタイ美人が座っておりました。日本人は今 20 人入院しています。

○外來患者は毎日 1,500~2,000 人。その内日本人は 120~130 人だそうです。

- (2) 何故タイの医療レベルの評価が高いのかをお尋ねしました。

① ロイヤルファミリー(王様一族)が医療に対して極めて大きなお力添えをされておられる。

今全国に 26 の王室病院があります。またタイの辺りな地方には王室の医療チームを派遣し、無料で医療に当たっています。バンコックにある大きな王室病院のベッド数は 800 もあるそうです。タイの医療の構図は、一般人は王室病院で、金持ちは主に私立の大病院で(バンコックには日本語の通じる大きな私立病院が全部で 5 つあるそうです)治療を受け、5 つある大学病院は主に医学生のインターンの場としての役割を果たしているように思われます。

② タイで尊敬されているのは勿論王様がダントツですが、民間では坊さん(4 万人の修行僧)が一番目、二番目は医者で、医者の社会的地位は非常に高いそうです。



子供たちから尊敬を受けている僧侶

③ タイの医学教育はインターンも含め 7 年間です。3 年目より臨床教育が始まります。日本と違って学校を卒業してからすぐ役に立つ医者になれる仕組みです。

④ 専門の異なる医者同士のコミュニケーションが非常に良い。お互いに助け合うという技術交流の思想が定着しています。

⑤ 医学生のアメリカ留学が非常に多い、したがって新しい医療技術導入が早い。

⑥ 人口の 85% は仏教徒であり、年寄りを大切にするという介護思想が人々の間に行き渡っています。

⑦ 介護事業を医師グループでやりたいと考えている医者が何人かいます。積極的に外資導入を考えています。

因みに心臓バイパス手術は一週間の入院(一週間で十分だそうです)で 50 万 BT(150 万円)だそうです。タイには保険制度がないので、現在高いレベルの医療の恩恵に浴しているのは、ごく一部の金持ちグループだけのように思われます。日本からのロングステイの旅には旅行保険が絶対に必要です、とアドバイスされました。

(3) 厚生省での話の中で興味をひいたものの一つに、一週間程度のヘルス・ツアー・パッケージを考慮しているということです。これは健康診断、タイマッサージ治療、漢方薬施薬、薬膳料理、気功を考えているそうです。また厚生省の女性ディレクターの話によると、現在タイでは看護婦が不足しつつあるそうですが、それでも介護婦不足の日本に対して輸出することを真剣に考えているようです。看護婦が日本で 2~3 年仕事をし、その後タイに戻り病院や介護施設で働くという考えのようで、多分日本人向けの介護にも携わるという長期的視野に基づいているようなので驚いています。

(4) その他、シルバー・ホスピタリティーに御熱心な Dr. ピイパットをご紹介します。彼のプランを頂きましたので、後日その内容を皆様には是非ご紹介させて頂きたいと思っております。できればそんな遠くない時期に、現地での見学を経た上でのレポートを、と考えております。

(5) 今回の厚生省訪問に際して、政府側で用意頂いた泰日通訳ヌンナムさんは中年の女性で、かつて日本に留学し、京都大学で農芸化学を学ばれたそうです。なかなか手際よく歯切れの良い通訳で、これもタイのホスピタリティーの表れではないかと改めて厚生省のご好意に感謝申し上げる次第です。

私にとって、今回のタイ・ツアーの目玉の一つはタイの医療と介護でありました。ラッキーにも恵まれ、多くの情報チャンネルを得ることができました。介護とそのビジネスも含めた具体的な内容と、タイ政府の方針もそれなりに理解できました。日本での介護のサービスと、金銭的負担を考えますと、南の国タイで新しい夢が描かれるように思っております。

## ☆ タイ.マッサージ

さて次の目玉は2,000年の歴史を持つというタイ.マッサージです。私は30歳の時にむち打ち症、40歳台の時の事故で腰を痛めて以来、マッサージから離れられなくなりました。佐藤栄作首相の官邸に一日おきに呼ばれたという女性の名人指圧師に、数年お世話になった事もありました。

さて、今お世話になっている女性の名人に、次のような話をお聞きしたことがあります。

マッサージ、指圧は疲労を取り、人間の免疫力を高める効果があります。でもその効果は通常3、4日しか続かないので、一週間か十日に一遍治療を受けるようにしたら良いでしょう。彼女自身も何回も治療を受けたが、満足が得られた治療は100人の治療の中で1人か2人しかいないとのこと。もって生まれた指先の優れた感覚と、集中力に恵まれた人しか一流の治療師にはなれないそうです。

数ヶ月前のテレビ特集でタイマッサージを見て、是非にと大変期待を持ってタイマッサージを受けました。費用はバンコックとチェンマイでは随分違います。1時間単位で、バンコックでは250BT(750円)、チェンマイでは100BT(300円)、チェンマイホテルで頼んだ場合車での送迎代も含め500BT(1,500円)/2時間でした。タイの伝統的なマッサージはインドのヨガ、中国のツボ指圧を取り入れたものと言われています。今から6代前の王様、ラム三世によって最初の本格的な教育施設がバンコックの寺院の中に開設されました。マッサージ師は大体20歳台の若い女性が大半で、普通2~3ヶ月の訓練を受けてから仕事に入るようです。マッサージの内容は、指圧70%、マッサージ20%、筋肉と筋の伸ばし10%の比率でしょうか。“足マッサージ”と言うと、まず脚先を暖かい石鹸水で洗ってから、足の裏から始まって膝まで丁寧に指圧、マッサージを繰り返します。太もも、脚の下部程丁寧ではありませんが指圧治療をしてくれます。普段日本ではあまり指圧、マッサージをしない部分なので、悲鳴をあげんばかりの、樹の生皮をはがすばかりの痛さでした。日本のマッサージとずいぶん違うところは、ヨガの伝統にあるような突然の海老反りに近い背骨矯正の荒業が入ってくることで、びっくりさせられます。翌日の“もみ返し”を心配しましたが、全く“もみ返し”がなかったのは不思議でした。（“もみ返し”とは普段使っていない筋肉を強くもむと、翌日に筋肉が炎症を起こして痛くなることをいう）全身マッサージの場合、シャツとズボンを脱ぎ、洗濯済みのきれいな白布の上着とモンペのような下着にはき変えます。うつむき、或いは横向きになって治療を受けます。1時間、時には2時間の間全く息を抜かない、彼女たちの奉仕にも近い治療態度には敬意に近いものを感じました。これも2,000年の伝統なのでしょう。1日にせいぜい2人か3人の治療しかできないそうです。平均してタイマッサージは日本のマッサージより2~3割方うまいというか、よく効くように思います。先年マレーシアのペナンで受けた中国人風(?)のタイ式マッサージ(旅行者向けで4~5千円/1時間)には全くがっかりしましたが、本場のタイ.マッサージは特筆ものです。

ここでお勧めのマッサージショップ“BODY TUNE”をご紹介します。私共のツアーで宿泊した「インペリアル.クイーンズ.パークホテル」から歩いて15分位です。マッサージ師は25人、足マッサージ室に10席、全身マッサージ用のカーテンで仕切られた部屋は10室、クーラーが良く効いていて大変清潔です。欧米人も随分来ていました。多分口コミで来ているのでしょう。値段は1時間280BTでした。旅慣れているツアーガイドの田中さんも“すばらしい!”と絶賛されていました。Sukhumvit通り24にあります。電話番号は661-0076~77です。夕方以降は混みますので予約をされた方がよいと思います。なお、チップは御自身の満足度にもよりますが、50BTから100BT位でいかがでしょうか。

## ☆ チェンマイの日本人

チェンマイでは一泊のあわただしい旅でした。ホテルは「チェンマイ.オーキッド.ホテル」で、多少古いですが格調高いホテルで、今の天皇が皇太子時代に宿泊されたことがおありとの由です。旅行案内書によりま

すと、チェンマイには“オーキッド”クラスのホテルが10以上もあるそうです。今やチェンマイは国際的にも有名になっており、空港も国際空港になっています。バンコックからは殆んど1時間おきにジェットが飛んでおり、私共の利用した夕方便も満席でした。

気温はバンコックよりも2~3℃低く、雨期でしたので湿度が高かったと思いますが、バンコックより遥かに過ごし易さを感じました。

静かな田舎町です。昔の王宮跡の周囲約4kmの堀をめぐる散歩はなかなか乙なものでしょう。6ヶ所のゴルフ場もあるとか。チェンマイの南、車で20分程のところにあるラムプーン工業団地には多くの日本企業の進出もあり、家族を含めて1,000名程の日本人が住んでいるとのことでした。シルバーグループと駐在員の交流は全くないそうです。

チェンマイで悠々自適の生活を送っておられる3人の日本人の方々、佐々木信理(マコト)さん、水間伸明さん、そして伊沢豊さんと朝食、夕食を共にしつつチェンマイライフをお伺いしました。御3人は異口同音に静かな古い町、チェンマイに惚れていると賛美しておられました。

佐々木さんはチェンマイ在留日本人シルバーの自由気ままな集まり、“もういい会”(会員50名)の世話役をしておられます。チェンマイの中心街にあるホテルの喫茶店で毎週水曜日の夕方6時から2時間程、楽しい放談をしておられるそうです。毎回30名程が集まるとか。チェンマイ訪問の際には顔を出してみたい集まりです。



伊沢さん(右端)たちとの会食

チェンマイの日本語新聞「ヴィアン・チェンマイ」をご紹介します。ヴィアンは都という意味だそうです。3人の日本人編集者の御努力によって、毎回3,000部、毎月1日と15日の2回発行されています。チェンマイ在留の日本人(800人がチェンマイ日本領事館に在留届を出しているそうです)と、多くの日本人旅行者に喜ばれています。チェンマイ空港、市内の12のホテル、その他40箇所で入手できます。

今回の旅行の際頂きました最新の7月号をみなさんと一緒に覗いてみましょう。

チェンマイでの年中行事のスケジュール、旅行者に便利なチェンマイの地図、飛行機や列車、長距離バスの時刻表、タイ鉄道の旅行記、ゴルフ大会の記事、トレッキング体験記、チェンマイ在留のシルバー日本人の紹介、寺院案内、風土病の解説、チェンマイでの生活情報がふんだんに盛り込まれた情報コーナー、等々の記事が新聞半裁の大きさ16頁に盛り沢山です。また広告も多く、どこに行けば日本の味に出逢えるのか、どこでカラオケが歌えるのか、すぐ分かります。

面白い数字を御紹介しましょう。チェンマイ⇄日本の往復エアチケットが6万円、バンコック⇄日本の往復が5万6千円と出ていました。因みに東京の格安航空券は日本⇄チェンマイ往復で7万5千円でした。日本に居る私共が、チェンマイのチケットを利用できるかどうか分かりませんが、安いものですね。

それからもう一つ、“教えます”の中に、日本人にタイ語を教えるコースが350円/時間(多分個人レッスン)、タイ人に日本語を教えるコースが60円/時間とありました。

将来チェンマイでのロングステイをお考えの方は、是非この新聞をお読みになられたらよいと思います。新聞の入手方法については、“南の会”会員の皆様とご相談の上、チェンマイの関係者と連絡をとってみるつもりです。

ここでチェンマイについての寸描を御紹介致しましょう。

チェンマイはタイで最も古い都のあったところで、人口20万人弱、日本でいえば京都にあたる700年の歴史のある町です。ミャンマーとの長期の何度にも亘る戦争の後、都の所在地がチェンマイ→アユタヤ→バン

コックと南下してきました。その時の戦火で、チェンマイにあった歴史的に価値のあった殆んど物が、今は遺跡として残っています。

チェンマイの人はバンコックの人に比べて大変素朴で優しい心の持ち主が多く、伊沢さんのお話ですとチェンマイで喧嘩しているのを見たことが一度もないそうです。しかも女性は色白の美人が多く、日本人の心をとらえているようです。

チェンマイには現地産の納豆もあります(もっとも味は? ウムという程度だそうですが)。物の本によりますと、タイの少数民族は昔から納豆を食べているそうですから、チェンマイ納豆はことによると山岳民族納豆かもしれません。物価もバンコックより安く、多分1/3とか。日本に比べたら1/5~1/6だそうです。少し高いが日本からの直輸入食物もあり、不自由を感じないそうです。

この小さな町に国立大学が3つ、私立大学が1つあるということも驚きです。その内2つの国立大学と私立大学に日本語学科があり、最も有名なチェンマイ国立大学の日本語学科には、学生が1学年100人もいるそうですから、これも驚きです。

チェンマイでも日本人の評価が非常に高いそうです。えらぶらない日本人、優しい日本人は大人気だそうです。日本人の友人を持つことは、チェンマイの人の誇りと自慢の種になっているそうです。数年前に放映されたタイ語版の“おしん”は大変な人気で、皆金持ちであったと思っていた日本人も、自分たちと同じように貧乏で苦しい時代があったという共感が得られたようです。

チェンマイにはチェンマイ・ラム総合病院があります。私立で350ベットの大きな病院です。日本人の来院が多く、日本語の通訳も常駐し、“内科”“外科”といった日本語の看板標識がかかっているそうです。医療レベルは非常に高いと伊沢さんがおっしゃっていました。伊沢さんは歯が悪く、しょっちゅうラム病院通いです。日本の歯医者でよく経験する“痛い”治療は、ここでは一度もなく、びっくりしておられました。因みに安い治療代の例として、入れ歯をプラスチックで作ると1万円強、メタル製で4万円強といったところで、日本と比べたら比較にならない程安い費用です。上手な英語をしゃべる技工士がいるそうです。伊沢さんは日本のクレジットカードを御利用になっておられるので、費用は総てそのカードの旅行傷害保険でカバーされています。

伊沢さんが今お住まいの16階建てマンションは24時間ガードマン付きで、1~4階がパーキング、200ある部屋にはロングステイを楽しむ欧州人もかなり見かけるそうです。エレベーターの中ではドイツ語やキングス、イングリッシュが飛び交うとのこと。

伊沢さんに生活費をお尋ねしました。今のお住まいは中の上のマンションで、45㎡の広さで、オール家具つき、パーキング付きで、月7,000BT(2万1千円)で借りています。部屋の掃除は外注(?)で、4人の女性がやってきて、休まず手を抜かず、30分ですっかりきれいにしてもらって、全部で100BT(300円)…悪いなあーと思いつつお支払いになっておられるそうです。

自動車の費用を別にすれば、合計の生活費は月に10万円もあれば十分で、2人で15万円位でしょう、と言っておられました。

私の年若い友人で、タイ駐在3年のチェンマイ大好き男に聞きました。静かでのんびりできるチェンマイはブラブラしていても全く飽きない町です。チェンマイの北に行けば象のショーが見られるエレファントトレーニング・キャンプがあります。蘭の栽培園(オーキッド・ファーム)を見てもよし、市内に戻って銀細工の工房、宝石加工、民芸品と興味が尽きません。勿論、寺院巡りもチェンマイの目玉観光スポットです。

チェンマイ市内から西へ15km、1,080mの山頂にある金色の寺院(ワット・プラ・ボン・マート・ドイ・ステップ)は1383年に



伊沢さんのマンションの窓外

建立され、地元の人々から聖地として崇められています。山の上からはチェンマイ市街が一望の下に眺められます。寺院までは立派な自動車の登山道とケーブルカーの便があります。

タイの山奥にある山岳少数民族の村を訪れるにはこの寺院の下で自動車を乗り換えます。屋根のない8人乗りのジープタイプの小型トラックに乗り、舗装道路を10分、無舗装道路を10分、それ程広くない山道を急スピードで走り上がります。日本なら無条件で罰金もののスピードでした。

静かな山奥には数百人のメオ族が肩を寄せ合って住んでいました。殆んどの家では観光客相手に土産物を売っています。メオ族は多少薄黒い肌色をしておりますが、平地のタイ人とは何ら変わるところなく、皆とても穏やかで、おっとりしています。その村のちょっとした広場に土産物店の集まっているところがあります。そこで現地人の民族衣装をまとった小太りの日本人が、タイ人の奥さんと一緒に立派な店を開いており、なかなか盛業のようでした。夜は平地のチェンマイのマンションに戻るとか。

真夜中まで多くの人出で混み合うチェンマイのナイトバザールでは、偽物買いを楽しむことができます。若い友人は2,000円の台湾製のローレックスを腕につけて楽しんでいました。もっとも偽物は60%が当たり…うまく動く時計、ということを感じて、ひやかしながら値引き交渉を楽しむことです。

夕食はナイトバザール内のオープンテーブルにつき、周囲の屋台から好きなものを取ってきてビールを飲んでも、驚くほど安いそうです。腹一杯になって友人とカラオケに行きます。日本の歌を好きなだけ歌いまくって、ボトルをとっても2,000円程度ですから、日本の1/20か、1/30位でしょうか？日本語をしゃべるタイの美人(大学の日本語学科卒か?)と楽しい語らいの一時を過ごすそうです。

佐々木さん、水間さん、そして伊沢さんの御3方がチェンマイに惚れきっておられることがよく理解できました。

チェンマイでは少なくとも2、3日は滞在した方が面白いのでは？ またシルバーのロングステイ候補地としても、医療の充実した、安全でゆっくりできる大変良いところだと思います。

また、一週間一度の“シルバーの語らう会”で、日本人の友人たちと楽しい時間を過ごすことができます。

シルバーエージの一番大きな問題は余暇の時間の使い方だそうです。

佐々木さんは、趣味の囲碁、テニス、仲間との語らい。

水間さんは、散策(健康のため)、タイ語の勉強、仲間とのギャギャ。

伊沢さんは、ボランティアでタイ人の学生に日本語を教えられるそうですが、日本留学目的の学生と、有利な就職目的と趣味の勉強があるそうですが、趣味目的の学生はすぐに脱落するそうです。いずれにしろタイ人の中での日本語学習熟は大変なものようです。

みなさんから面白いお話をお聞きしました。私共日本人が何の不自由もなく自由自在にあやつっている日本語、そして文字である片仮名、平仮名、漢字と、日本語は外国人が見たら目を回しそうな世界一難しい言葉ではないかと。



ワット・プラ・ホンマ・タート・ドイ・ステーフ 寺院



メオ族の村にて



チェンマイの日本人シルバーは皆さんタイ語を話すことができます。現地の人との付き合いには絶対に必要なことだとのこと。ご立派な態度です。でも皆さんは言うておられました。「人工語であるタイ語は大変易しい言葉ですよ」と。永住シルバーの心意気はかくあるべきと思いました。でもやはり日本語からは離れられず、日本語衛星放送を楽しみにされ、たまの日本への里帰りには4~50冊の本を買い込んでチェンマイに戻ってこられるそうです。

チェンマイでの老人介護施設のプランについて、佐々木さんより次のようなお話をお聞きしました。

チェンマイの南にあるラムプーンのゴルフ場に隣接した場所に、シンガポール資本による高級リゾート風の介護施設が計画されているようです。医者が常駐しており、もう既に希望者による現地見学会ツアーが実施されているとのこと。もう一つはチェンマイの東30kmにある温泉地に介護施設が計画されているとか。日本人の好きな硫黄泉で湯量も豊富のようです。

最近の地元英字新聞情報によりますと、タイ政府では、海外の老人を治療、介護目的でタイに招くための予算措置を講じたとか。タイでは医療、介護を広い意味で“シルバーホスピタリティー”と呼んでいるようですが、私共も次回の“タイのシルバーホスピタリティーを尋ねる旅”の重要な候補の一つとして、チェンマイを考えておきたいと思っております。

## ☆ タイの不動産について

まず、マンション相場についてお話し致しますと、チェンマイでは20,000~25,000BT(6万円~7万5千円)/㎡で、バンコックに比べても半値近くと、安くなっています。なお部屋の広さは、通常80~100㎡です。チェンマイで最高級の30坪程度の物件を求めたとしても、約800万円程度でしょう。

さて、まことに残念なレポートを皆様にしなければなりません。それはタイまでも日本人不動産屋の百鬼夜行がみられることです。4、5年前頃より百鬼がうごめいているようで、中には日本に事務所を持っているところもあるようです。バンコックに4グループ、チェンマイに3グループの不動産屋が、今までに問題があった、もしくは今問題があるとして指摘されているそうです。タイの日本大使館でも苦情を受けており、頭を悩ませています。タイから国外追放を受けた日本人もいるようです。

百鬼の手口は、チェンマイのホテルロビーに年配の日本人夫婦がいると、日本人の若者が親しげに親切風に近づいてきて、チェンマイの案内を装って巧みにマンションを紹介する、ということのようです。タイ語で書かれた物件売買契約書をもっともらしく説明し、サインさせる。

名刺に書かれた事務所に電話をかけても、まず殆んど出ない。また百鬼は事務所には殆んど顔を出さないようです。後日問題解決のために弁護士に頼んでも、最低一年から二年はかかるとのこと。永住される場合は別ですが、海外で不動産には手を出されないほうが安全です。殊にロングステイの方ならマンションをお借りになることをお勧めします。その時には必ず信頼できる方の手を通してください。



7月の初めにタイより戻って来まして、日本の異常な猛暑に驚いております。バンコックよりも2~3℃程暑いようです。14名の会員の皆様方と楽しく旅を過ごしてまいりました。

またの機会に御一緒させて頂くことができれば、と楽しみにしております。

34頁にアンケート結果を記載し、タイの見聞記を終わらせて頂きます。

有難うございました。

今回のツアーに、日本語教師養成学校のクラスメートと参加しました。クラスメートと言っても3人とも60歳前後のシニアです。

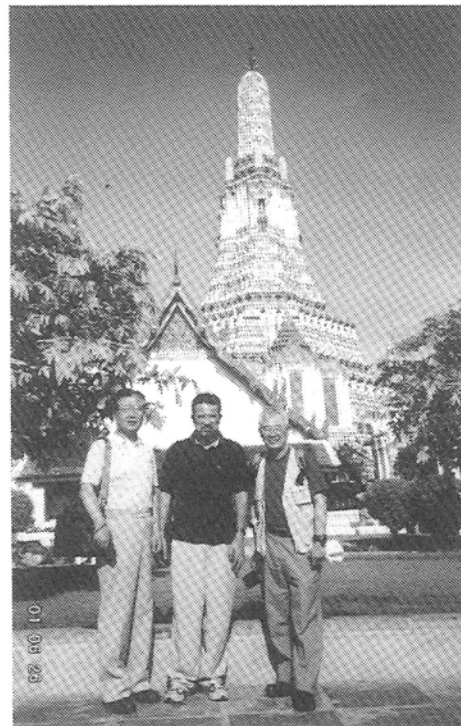
卒業後は海外で日本語の素晴らしさと日本文化を伝えたいと考えています。

今回はタイの日本語熱の状況を報告します。

◇タイの日本語熱

タイの外国語に関する関心は、第1位が英語で、2番目が日本語です。なぜ日本語に関心が高いかはいろいろな理由がありますが、やはり現地日本企業や観光業で働きたい人が多く、日本語が必要とされていることが大きな理由です。日本語を学ぶタイ人の多くは日本語を習得し、日本語を生かした仕事をしたいと思っています。

タイの日本語教育学校や大学など6機関で日本語学習者に学習の目的をアンケートしたところ、すべての教育機関の学習者が「タイで仕事に役立てるため」が学習目的のトップにあげています。



ワットアルン(暁の寺)

島戸氏、鈴木、小野氏(小野氏撮影)

◇バンコク日本語事情 (川満バンコク日本人会前事務局長談)

タイの日本語教育熱は全国に広がりつつあります。中等教育レベルでも広くおこなわれるようになってきています。1997年から大学院レベルでの教育も始まり1999年からは、大学の入試科目として日本語が選択できるようになりました。

ですから日本語のネイティブスピーカーを望んでいる学校は沢山あります。

ただ学校の予算の関係からボランティアになるのではないのでしょうか、また日本語が話せると給料が大幅にアップする企業もあるので、社会人の学習熱も盛んです。

会員のみなさんの中でも、ロングスティをしながら日本語を教えている方、或いは教えたいと思っ



子供達の明るさが最高(小野氏撮影)

いらっしゃる方もおられると思います。

どんなことでも結構ですから情報がありましたらご連絡ください。

メールをお待ちしています。 メールアドレス: szk53@titan.con.ocn.ne.jp (鈴木)

☆同行のクラスメート

会員No.382(東京都小金井市在住): 島戸 伸明 氏

会員No.383(神奈川県相模原市在住): 小野 藤夫 氏

以上

## タイツアーに関するアンケート

今回のタイツアーに14名の方が参加されました。  
皆様方のツアーについての御意見を次のように  
とりまとめました

(単位:人)

	AA 大変よかつ た	A 満足してい る	B まずまずで ある	C 少し不満	D 不満
バンコックホテル	5	9			
バンコック日本人会	2	9		1	
病院訪問	9	3			
サービスホテル訪問	1	3	3		
厚生省訪問	2	2	2		
日本語学校訪問		2	1	3	
バンコック観光	1	10	2		
個人ツアー	2	4	1		
バンコックガイド	2	9	1		
チェンマイホテル		6	4	2	
チェンマイ日本人会	8	1	2	1	
チェンマイ観光	1	8	2		
チェンマイガイド		7	5		

皆様方のご評価によりますと、今回のタイツアーについては、かなり満足しておられることが分かります。付記されました皆様方の御意見を拝見しますと、

- ①チェンマイ一日では短か過ぎた。夜ホテルにチェックイン、早朝チェックアウトでは余りにもあわただしい。
- ②サービスホテル訪問は、バンコックよりもロングステイ希望が多い筈のチェンマイの方が望ましいのでは？
- ③チェンマイでの免税店訪問が、これでもか、これでもかと、いささか鼻についた。
- ④現地で提供されたオプションプランは総じて価格が高過ぎたので、誰も参加しなかったのでは？
- ⑤日本語学校訪問のプログラム調整が完全でなかった。幹事の反省大なるものあり。
- ⑥タイの老人介護は大変魅力がありそうなので、更に実態を調べる必要があるのでは？
- ⑦南の会の皆さん方のツアー目的が益々個別化されつつある傾向のように見受けられます。ツアーのプランを事前によく練る必要があるのでは？
- ⑧「南の会」の多目的のツアーには、現地の強力なプロモーターが絶対に必要である。

# 陸の孤島パース

## 《 時間が止まった街 》

平成13年 6月

東京都日野市在住 会員No. 110 藤本 靖人

西オーストラリア州の州都パースは、日本から7000km、シドニーからでも4000km離れた文字どおり陸の孤島と云える都市です。パースはかつてカラーテレビが急速に普及し始めた頃、兼高かおる「世界の旅」で世界で最も美しい街として紹介された街でもあります。

今回私共夫婦は20日間3回目の滞在をしましたので、少しパースを紹介させていただきます。



キングスパークからのパース市街

### 世界で最も住んでみたい街

パースは西オーストラリア州の州都で人口13万人、州の人口180万人ですから、パース以外には50万人しか住んでいないことになります。オーストラリアのなかでも、その1/3の面積(日本の6.7倍)を占め、インド洋に面した美しいビーチ、金やウラニウム、鉄鉱石などの豊富な天然資源などがあり、オーストラリアのなかで、最も裕福な州と云われています。

パースはスワン川沿いに広がる近代的な美しい街で、歴史的には1880年頃から開拓が始まったようです。シティのあちこちに残る当時の面影をたたえた建物が、街の雰囲気をもっと魅力的なものにしています。また街には緑があふれ、いたる所に公園があり、ゴルフ場も中心街から車で5分以内に幾つもあり、市内には40数箇所あるそうです。ゴルフ場の半分はパブリックで、1ラウンド20ドル(1300円)程度のところが多いそうです。

### 気候風土

南半球ですから季節は日本と逆になります。6～8月が冬になりますが、日中は20°前後、夜間は5～10° と思います。落葉する木もありますが、殆どは常緑樹で芝生も緑を保っています。夜間は少し寒い感じで、簡単な暖房器具が必要です。昼間街に出ると、半袖シャツ、ノースリーブの若者が多く、またセーター、ジャケットなどが入り混った光景を見ることができます。

12～2月が夏にあたります。昼間は30～35°、



ジュンダラップゴルフ場に隣接するヴィレッジ

夜間が15～20°が一般的と見て良いでしょう。最高気温は40°になることもあるそうですが、殆どの方達がクーラーは必要ないとおっしゃいます。雨量は5～9月が雨期にあたり、しとしと降るのではなく短時間のスコールといった感じの降り方です。夏は雨は殆どなく、月10～20mm程度です。全体的には地中海性気候と云われています。

パースは世界でも最も自然災害のない街とも云われています。地震、台風など無縁だそうです。しかしゴールド・コーストでも同じことを云われました。また最高・最低気温もパースよりは緩やかたのお話もありました。

## 交通事情

パースの公共交通機関は、バス、電車、フェリーをトランスパースが運営しており、これらの交通機関を一枚のチケットで同時に利用できるよう運賃システムも共通になっています。また電車の駅には改札口はなく自己責任でチケットを買い乗車するシステムです。時々電車の中に警官(?)が乗りこみ検札し、不正が見つかったら罰金と犯罪者のような取り扱いを受けるようです。

またシティの中心部は、ブルー、レッドキャットという無料バスが巡回しています。道路は広く走りやすい構造です。国道は殆ど4車線で広々しており、郊外にでると110km/hまで認められています。またフリーウェイは3方向に走っており、広いところは8車線ありますが、すべて無料です。私は1000kmばかり走って見ましたが、殆ど渋滞は経験しませんでした。

## パースの日本人

在留邦人はオーストラリア全体で33,000人で、パースでは2,300人程度とされています。学生が半分程度と云われていますがはっきりしたところは判りません。日系機関・団体は西豪州日本人会(日系法人とその社員、永住者などで構成)があり、個人292人、法人等24会員だそうです。現地では日本人学校のPTAとの繋がりが大きいとのこと。

もう1つの機関として、西豪州日本クラブがあり、72家族で構成されています。定住者やリタイアメント家族が中心で、会報なども発行されています。昨年末この会の有志が高令化に伴う助け合い組織として、「サポートネット「虹の会」」を発足させました。

## サポートネット「虹の会」

在パースの日本人も高令化が進み、高齢者の1人住まいの増加が予想されていることを踏まえ、邦人としてお互いに助け合うとのコンセプトから「虹の会」が設立されたそうです。現在は会員18名と小さい組織ですが、活動を始められています。活動内容は

1. オーストラリア人による「社会福祉法人ホームサポート」との業務提携による、運転代行、ガーデニングケア、ホームケア(掃除、家の修理)等の有料サービス
2. 生活情報の提供  
(移住後間もない人、学生、ワーホリ学生のため)
3. 医療情報の提供  
(医療システムなど判らない人のため)
4. 医療通訳サービス
5. 子育てサービス
6. 高校留学生へのサポート
7. パソコントラブル相談
8. 病院、ナーシングホームなどへのお見舞い、お手伝いなど



フリーマントルにて、南極観測船「しらせ」

## 9. 電話相談(さまざまな問題の相談窓口)

以上が活動の内容ですが、対象となる高齢障害者は、今のところ殆どなく、女性で亡くなられた方の葬儀の手伝い、脳梗塞で1ヶ月入院されて、帰国のお手伝いをした2件が実績だそうです。日本人看護婦資格を持つ2名がボランティアとして登録してくれているそうです。現在活動の主体は電話相談で、学生、ワーキングホリディの若い人達の相談は多く受けているようです。

毎月1回日本領事館で例会が開かれ、私共も参加させて頂きましたが、日本人だけでなくオーストラリア人、学生など30数名の会合で活発な意見交換が行なわれておりました。

## 住宅事情

パースの住宅は必要量は満たされているとのこと。基本的に1戸建てで、敷地500~700平方m、建物200~250平方mぐらいが標準的といえるでしょう。

マンションのような集合住宅は都心部に限られ多くありません。また高層の建物はさらに少なく数棟という感じです。価格はスワン川沿いのいわゆるRiver view, インド洋沿いのSea viewは別格で100万ドルを越える物件が常識だそうです。それ以外は15~30万ドル(975~1950万円)程度だと思います。

オーストラリアの人達は簡単に住み替えをやるそうで、中古物件の数は非常に多いとのこと。私も車で住宅地を回って見ましたが、至るところでFor saleの看板を見ることができました。日本では中古物件の手数料は売る側、買う側から取りますが、当地では売る側から2.5%のみです。買う側は取られませんので注意してください。

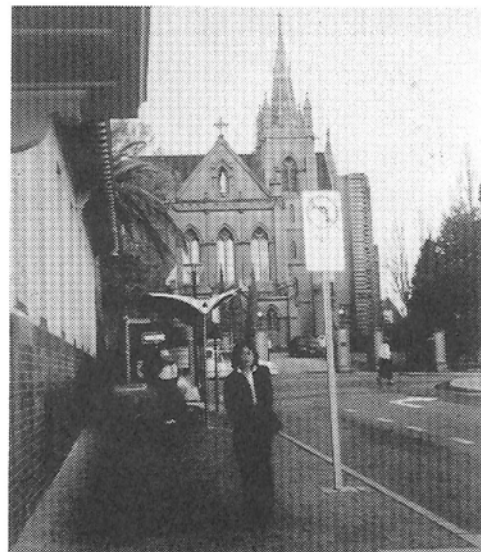
日本人の正式な不動産取引の資格がない人が、コンサルタント料を取り、時々トラブルになっているそうです。また中古物件を取得しようとする場合、観光ビザでは無理で、リタイアメント・ビザが必要です。リゾート地などで開発される特別な許可を受けたものはこの限りではありません。こういう物件は割高になることは覚悟しておいて下さい。

## 生活情報

オーストラリア人の平均年収は3~4万ドル(195~260万円)で共稼ぎで5~6万ドルです。したがって30万ドルの住宅を購入できる人は限られると考えてください。

私共20日間生活してみました。食費は週100~150ドル(6500~9750円)と推定しました。したがって月400~600ドル(26,000~39,000円)です。ゴールド・コーストにお住まいの岡田氏、佐藤氏の食費もそれぞれ500ドル、800ドルと発表されていますのでほぼ正しいのではと推定します。ここでその一例をご紹介します。

カルフォルニア米		4.39ドル/kg(285円)
メディウム米(短粒種)		1.4ドル(91円)
コシヒカリ(オーストラリア産)		4.1ドル/kg(226円)
牛乳	1L	1.9ドル(123円)
食用油	750ml	2.89ドル(189円)
食パン	1ブロック	2.9ドル(188円)
卵	12個	5.03ドル(327円)
ビール	375ml	1.9ドル(123円)
ヒレステーキ肉	500g	5.0ドル(325円)
ベーコン	500g	3.49ドル(227円)
たまねぎ	1kg	1.45ドル(94円)
トマト	1kg	3.45ドル(224円)



パース市内セントマリー寺院前

人参	1kg	1.25ドル(81円)
バナナ	1kg	2.0ドル(130円)
柿(富有)	1kg	4ドル(260円)
ミカン	1kg	4ドル(260円)
車えび	1kg	20ドル(1300円)
サーモン	1kg	25ドル(1625円)
中アジ	1kg	10ドル(650円)
豆腐	(半丁)	1.8ドル(117円)
ガソリン	1L	0.85ドル(55円)



フリーマントルのカフェでカプチーノを楽しむ

日本食材については日本食材専門店がパースに2店あります。価格は日本の倍程度です。トンカツソース、各種ドレッシング、だし素など調味料は殆どありました。こうした店は日本の人気テレビ番組のレンタルが大きな収益源だそうです。そのほかアジア系の食材店も数店あり、これらにも日本食材があります。また大きなスーパーにもアジア系食材コーナーがあり、しょうゆ、カップラーメン、酢、豆腐などを扱っていました。

これらを総合すると、日本の約半分程度の生活費かなと思えました。その他光熱費、電話代、インターネットプロバイダー費、水道代などありますが、光熱費は月200ドル程度(13,000円)と聞きましたが定かではありません。

## リタイアメント・ビザ

リタイアメント・ビザは3年前から、最初の取得で4年間有効で、4年後同様の条件で再申請を行ない、2年毎の更新申請が必要になりました。従って常に条件を満たしておく必要があります。以前は4年後簡単な審査で更新が出来たと聞き及んでいます。

審査条件は特に変わっていないようです。資産65万ドル(4225万円)又は20万ドル(1300万円)および年金などの送金4.5万ドル/年(292.5万円)が保証されること、無犯罪証明書、健康診断書(胸部レントゲン所見が主体で、高血圧症の有無ではありません)が必要です。リタイアメント・ビザはあくまでも一時滞在ビザの一種ですから、上記の条件が揃えば難しいものではないと理解しています。

このビザの取得で長期滞在、出入国が容易になる他、中古不動産の取得が可能になります。しかしこのビザでは仕事はできませんので理解しておいてください。投資はいいようですが仕事とは異なるとの解釈のようです。

オーストラリアのリタイアメント・ビザの取得は年60~70名で一定しているようです。意外に少ないとの印象ですが皆さんはいかがですか? また、ビザの取得について、各州でいろいろ取り扱いが異なるということも理解しておいて下さい。今のところ西オーストラリア州が最も寛容(特に更新申請)ではないかな???と思います。

## 医療保険

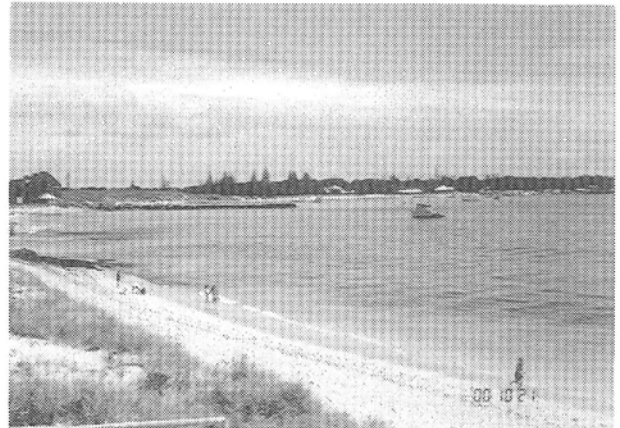
リタイアメント・ビザを取得するに際して、民間医療保険に加入する必要がありますが概略(正確には判らない)は次のとおりです。一番グレードが高いもので、夫婦で年間3000ドル強(19万5000円)ですが、保険会社により若干差があるようです。

日本の国民健康保険に比べても割安かなという印象を持っています。この保険は入会后2ヶ月間は適用されませんので、少なくとも2ヶ月前に入会しておく必要があります。また眼鏡は6ヶ月、慢

性疾病(例えば高血圧症、糖尿病など)、歯科は1年間適用除外です。歯科、カイロプラティック、薬剤は15%自己負担、それ以外は自己負担なしと理解しています。慢性疾患をお持ちの方は、1年前から加入しておくことも1つの方法でしょう。

## 税金

税金の問題ですが、6ヶ月以上滞在して得た収入は申告しなければなりません。たとえ観光ビザでもです。預金の利子は非住居者は10%源泉ですが、居住者(6ヶ月以上滞在者)は申告する必要がありますので、覚えておいてください。見つかると罰金があるそうですよ!一万ドル単位を覚悟しておいてください。



ロットネス島の海岸

## まとめ

”世界で最も住んで見たい街”と言うパースのキャッチフレーズは肯けますが、ある在住日本人から”時間が止まった街”のフレーズを聞きナルホドと納得した次第です。

オーストラリアの日常生活費は住居費を除くと1000~2000ドル(65,000~130,000円)程度と考えてください。これには衣服費、レジャー費、交際費などの費用も含まれません。またレジャーはゴルフ、テニス、ヨット、モーターボートなどアウトドア一派には日本と比較して格段に安い費用で楽しめると思います。

なお、住居費を賃貸で賄うつもりであれば、月400~800ドル(26,000~52,000円)を想定してください。この場合はリタイアメント・ビザの取得の必要性は薄れます。

ロングステイで2~3ヶ月の滞在を予定される場合は、ホリデイ・アパート(2ベットルーム)などを借りる必要がありますが、週400~1,000ドル(26,000~65,000円)を考えてください。

また、住居の取得又は家具なし住宅の賃貸の場合、家具、家電、調理器具、食器、自動車など初期投資が5~10万ドル(325~650万円)の準備が必要と考えます。

オーストラリアでの生活を想定して、概略調べた範囲で記載してまいりましたが、まだまだ不行き届きの面もあると思います。ご興味があればご質問ください。判る範囲でお答えしたいと思います。

【\*写真は 鈴木 剛さん撮影のものを掲載させて頂きました(編集)】

以上

藤本 靖人 191-0033 東京都日野市百草 971-88

TEL/FAX:042-592-7627 e-Mail:yiu62954@nifty.com

## メンバーリスト貼り付け

南国暮らしの会の皆さんおはよう御座います。

南の会の平成13年度正会員(会費納入者)が昨日(6月29日)300人を突破しました。

会発足以来この数字は初めてです。この数字は年度目標会員数でしたが、こんなに早く達成出来るとは思いませんでした。これも一重に皆様方のご尽力のお陰です。

今後とも宜しくお願い致します。とにかくおめでとう御座います。

H13.6.30 酒匂 景輝 拝



## ニュージーランドの友人を訪ねて

平成13年7月

東京都在住 会員No.59 米田 隆雄

6月22日から25日までの4日間、ニュージーランドに初めて家内と共に訪れました。かねがね、人、知人より非常に環境の綺麗な、ゆったりとした、且つ、物価の安い国であるということを知っていましたので、ロングステイに、或いは、移住に良いか否かを自分の目で確かめることが目的でした。

自分の目で見て廻るだけでは表面的な印象しか得られないので、現地に既に家族と住んでいる二人の本人と私の友人である中国人の計三家族を訪れました。日本から観光に行く人達は通常、少なくとも島の観光都市クライストチャーチ、北島のニュージーランド最大の都市オークランドを訪れるようだが、私は、四日間に情報収集のため三家族と会わねばならないことから、今回は北島に限り、オークランドと温泉で有名なロトルアのみに行きました。ロトルアについては観光案内書に譲りまして、当レポートでは、三家族と会って得た情報・印象についてのみご報告致します。

まず、オークランド空港に6月22日朝10時に着き、通関問題に遭遇した件につき、皆さんにも注して頂きたいので、記します。私自身、海外へは年に5-6回は出張しており、慣れっこになっていすので、機内で書く植物検疫の報告書には、いつものように「なま物の果物・野菜・ナッツ類などはっていない」と全部の欄に適当に×をつけてサインして、入国管理官に渡しました。ところが、ニュージーランドでは、入国する時も、スーツケースから携帯カバン等全部、レントゲン透視機を通さねばりません（出国する時、どこの空港でも、危険物を入れていないかを調べるために通す例の機械です）スーツケースの中には、ニュージーランドに来る前に行ったハワイでマカデミアナッツをたくさん買込んで入れていたため、それが透過で分かりスーツケースを開けるよう指示されました。

現物を取り出され、嘘をついたのではと、女性の入国管理官からきつく詰問され、罰金を払うよう言われたのですが、「悪気はなかった、果物だけ報告すればよいと思っていた」というようなことを説明、上司の男性の管理官から、今後は注意するようにと諭され、なんとか罰金を払わずに入国することができました。ニュージーランドは、農産物の輸出が最大の輸出品目であるため、海外の植物・動物の疫が入らないよう他国以上に厳しい検疫を行っているそうです。

入国に時間がかかってしまい、空港に迎えに来てくれているはずであった、インターネットで予約していたレンタカー会社担当者が見つからず、やむなく、空港案内版に載っているレンタカー会社に電話し迎えに来てもらい、まず足を確保しました（空港には、エービスとかハーツの大手レンタカー会社デスクを持っていますが、二倍以上高いのでよしました）。2000ccのホンダ車（シビックのークラス）を保険込み4日間借りて（走行距離無制限）220ニュージーランドドル（約12,000円）でしたか、日本に比べれば、非常に安かったです。

地図を見ながら、オークランドの郊外北部にある日本人家族の住む農場に向いました。40代半ばの主人、奥様、おばあちゃん、小学生二人、幼稚園一人の3人の子供で、6年前、ニュージーランドへ住まれたご家族です。ロングステイ財団の機関紙に広告を出しておられるガイアファームという日本相手の観光旅行会社を営んでいる社長のお宅です。ベッドアンドブレイクファストというスタイルのホームステイもやっておられるので、情報収集を兼ねて一泊お世話になりました。見渡す限り広い場の中に住んでおられ（農場はやっていない）、農場と大型の中古住宅で3,000万円余だったそうです。お子様も地元の学校に通い、家族で素朴な人間性を持つニュージーランドの人との近所付き合

いも楽しんでおられるようで、すっかり根をおろしておられるようでした。おばあちゃんは日本の息子宅とを行き来されており、ニュージーランドに来始めてから空気がよいので若返ったとおっしゃっていました。

一般的にニュージーランドの給与水準は日本に比べ低いそうですが、生活費は非常に安く半分か1/3位というお話でした。スーパーマーケットにも行ったのですが、農産国であるだけに野菜・果物・肉類は豊富で、日本の1/4位の値段に思えました。ただ、ニュージーランド人は電気製品なども永く使い、最新モデルを追うようなことはしないそうで、店頭にある電気製品などは、値段は日本よりは若干安いが野暮ったいものが多いように感じました。ニュージーランド人の生活スタイルは、家族と共にスポーツとか自然を楽しむということで、このようないわゆる田舎的なんびり生活が好きな人には非常に住みやすい国だそうです。

最近、日本から移住したいということで来る若い人が多いようですが、なかなか職が見つからず、結局諦めて帰るそうです。静岡県と同じ320万人の人口が、日本と同じ面積に住んでいる訳ですから、東京に住み慣れた私には、市内や観光地に行ってもあまりに人が少なく寂しい感じもしました。そういう状況ですから、国内市場は小さく、なかなか商売も興しづらく、就職機会も少ないということでしょうか（従って、国としては観光業に力を入れている）。ただ、若い女性には人気のある国で、ニュージーランド人と結婚する人が年々増えているそうです。

オークランドでは、中流以上の住宅地のある地域を教えてもらい、地図を頼りにレンタカーで見て廻りました。きれいに整った住宅地が多く、付近の不動産屋にも立ち寄り金額を確かめましたが、一戸建てで安いのは1,500万円ぐらい、上はいくらでもきりが無いといったところでした。

三日目には、オークランドから南へ車で2時間のハミルトンという北島で第二の都市に行きました。私の台湾人の友人（45才）がニュージーランド国籍を取るため、同市の大学に入り、家族と共に4年間住んでいる家を訪れました。家族全員、ニュージーランド国籍を晴れて取得し、6月末には、職を得てホンコンに出発する直前の訪問でした。綺麗な住宅地のプール付の大きな家に住んでおり、これは1,500万円で購入したが、住宅価格が下がっているので、1,200万円ですりに出しているとのことでした（オークランドは最大都市で不動産価格が高いけれど、地方都市ではこの様に安いそうです）。私達を連れて行ってくれたのですが、歩いて行ける裏手には大きな清流が流れており、そこでは、大きなウナギも取れるし、鮭も取れるということでした。ゴルフも安く、高級コースの会員権を40万円で購入したが、プレー代はタダなので、プレー回数を重ねる度にコストが安くなると言っていました。典型的なニュージーランダーの生活を楽んでいるようでしたが、ただ、生活のペースがスロー過ぎ、また、静か過ぎて寂しいとも言っていました。

同じハミルトンに日本から半年前に家族を連れて来られた58歳の方にも会いました。「そごう」に勤めていたが、今回の「そごう」倒産で辞め、日本には見切りをつけ、移住すべく家族全員（奥さんと息子二人）で来たとのことでした。オークランドは住宅も物価も高いので、暮らしぶらく、また、ああいう大都会は好きでないということで、従って、ハミルトンを選んだということです。息子さんはニュージーランドの大学に転入学され、



中国の友人(ハンリー-ヨソ氏) 私と家内 石井氏  
ハミルトン市のレストランで

ご主人は趣味の笛などを学校で演奏したり、日本語を教えたりされており、また、物価をよく観察研究されている人で、やはり、日本の半分か1/3とっておられました。住宅については、買うべきでなく、借りるべきであるという意見で、2ベッドルームの一軒家を借りて住んでおられました。家賃が水道代込みで月約3万円、従って、住宅を買う資金があればそれをニュージーランドの銀行に預金し、6%の金利を稼いで、それで家賃を払って住んだ方が、余程、得であるという計算になるそうです。

この方は、家族全員観光ビザ（3ヶ月有効）で来ておられ、それを3回現地で更新して9ヶ月滞在し、その後、出国しビザを更新してまた来るということを繰り返す計画であるという趣旨のことを言っておられました。それで首尾良く永住ビザが取れるかどうかよく分かりませんが、家旅ぐるみで来られているぐらいですから、かなり真剣に研究しておられるようでした。フィリピンやマレーシアのようなリタイアメントビザはありませんが、確かにオーストラリアに比べ、緩やかなイミグレーションローのようですから（インターネットにもニュージーランド政府の規則が詳しく掲載説明されている）、退職後、長期滞在する目的のためには一向にビザ上の問題はないように思われます（半年とか9ヶ月に一回とかは日本に帰りたいたいという気分になることを前提とした場合）。

ニュージーランドでは、ベッドアンドブレイクファストという朝食付宿泊を提供する個人家庭のネットワークが発達していますので、宿泊費を安くあげたい人はこれを利用し、一度、自分の目で見て来られたら如何でしょうか。生活環境のインフラが整った先進国であり、治安もよく、英語で暮らせる上、暑くもなく寒くもなく、生活費が安い。退職後は生活費を安く暮らせるのが、誰にとっても重要な要件ですが、これは必ずしも東南アジアの国々に限られたことではないことが今回の旅行で分かった次第です。

ニュージーランドは南半球で気候は日本と逆なので日本の冬はココでは夏です。避寒を兼ねたロングステイには最適かもしれません。

以上

---

## メーリングリスト貼り付け

163宮崎より

下元さん、高沢さん

お便りありがとうございます、東京で見るメールより旅先で見るこれって、何と表現していいか感動物です。おっしゃる通り当たり前のことですが、セブで駄目だったのはパスワードがダメだった様です。ダピタンのお便り写真の彼女を知っているだけに、下元さんのレポートにはウルウルです。作品になってますよ、あらためて今懐かしくダピタンを思い出しております。

高沢さん暑い中お勉強ご苦労さんです、頑張ってください。

ハワイ生活ですが、毎日10時頃寝て朝7時起き午前中テニス、昼食後昼寝、それからブラブラと気ままに素晴らしい青空とコバルト色の海を長めに海岸に行ったり、モールに行き珍しいものを探したり、その後ワイキキの海岸に繰り出してひと泳ぎ、爽快な風を受けながら日没の夕焼けを見ながらウンHAPPYを感じその日は終わり。今週はこのペースで行きます。

現在の宿はイリカイです。なかなか便の良いところです。では又。

---

無料メールは、世界 No. 1 の MSN Hotmail で！ <http://www.hotmail.com/JA/>

## 1、平成13年度情報交換会予定

情報の入手と共に会員同士の懇親を深めたいと思いますので、出来るだけ多くの方のご参加をお待ち申し上げます。(全国の会員の皆様、お誘い合せの上ご参加下さい。)

- ・第2回：平成13年8月24日(金) [詳細下記] ・第3回：平成13年10月6日(土) [詳細下記]
- ・第4回：平成14年1月19日(土) [詳細はその都度会報にて案内します。]
- ・第5回：平成14年4月20日(土) [詳細はその都度会報にて案内します。]

## 2、第2回情報交換会 \*参加申込は別紙にてどうぞ \*返送先：宮崎宛

『タイランド ツアー報告会』(今回の報告会は大変有益な情報が満載です。)及びタイ国チェンマイ在住の水間様が8月24日帰国予定です。水間様の日程に合わせて計画しました。

- ・日時：平成13年8月24日(金) 午後1時30分(1時開場)～5時頃まで
- ・場所：東京都新宿区西新宿6-3-1 ・新宿アイランドウイング内：4階A、B、C会議室  
近畿日本ツーリスト(株) TEL：03-5323-6650

◎道案内：地下鉄丸の内線西新宿改札口(地下1階で1ヶ所のみ)を出て、向かって右側の道を数10m行くと新宿アイランドウイング(近畿日本ツーリスト [株]の入居ビル)があります。ビル内の案内標識は『タイランドツアー報告会』です。不明な方は受付でエレベーター室を聞いて下さい。 ◆案内標識は地下1階エレベーター入口と4階エレベーター出口に掲示。車などで来られる方は、必ず地下鉄改札口に行き、上記の道を辿れば簡単です。

- ・会費：¥500-
- ・定員：50名(今回の会場は少し手狭ですので、受付順の定員で締め切らせて頂きます。)
- ・講師 ☆池田徳三郎様(理事長)：タイ旅行を終えて  
(予定) ☆水間 伸明様：タイ・チェンマイに住んで5年(講演及びQ&Aで100分間程度)  
☆鈴木 剛様：タイ旅行で見たもの聞いたこと  
☆三井田雅俊様(副理事長)：タイ・シルバー・ホスピタリティの現状と将来

※情報交換会終了後、懇親会を予定しております。(懇親会は希望者のみで費用は当日実費徴集)

## 3、第3回情報交換会 \*参加申込は別紙にてどうぞ \*返送先：宮崎宛

- ・日時：1.情報交換会：平成13年10月6日(土) 午後1時30分(1時開場)～5時まで  
2.懇親会：同 日 午後5時30分～9時まで
- ・場所：東京都大崎労政事務所南部労政会館、東京都品川区大崎1-11-1  
ゲートシティ大崎ウエストタワー2階(JR大崎駅徒歩5分) ☎：03-3495-4915

◎道案内：JR大崎駅(改札口1ヶ所のみ)を出て、右へ10m位歩き突当りを又右へ10m位歩き、左側に上り階段数段を上ると歩道橋で50m位歩くと屋上路(皐月などの植込みある)を斜右へ100m位行くと、ウエストタワーへの屋根付き連絡通路がある。この通路の突当りがウエストタワーで、中に入り案内嬢に聞くと親切に教えてください。

- ・緊急連絡先；事務局：宮崎まで・・・携帯☎：090-2907-8340
- ・会費：情報交換会：¥500-、\*懇親会：¥3,000-、(共に同じ会場にて開催)
- ・講師 ☆立道和子様：ロングステイ最新情報(年金・月21万円の海外2人暮らし著者)  
(予定) ☆五十嵐義明様：コスタリカツアー案内(コスタリカ共和国政府観光局日本代表)  
[南の会有志によりコスタリカ・ツアーを計画中です。興味のある方は是非どうぞ。]  
その他に2名の講師を予定しております。ご期待ください。 以上

## 南の会・伝言・掲示板

### 1、表紙のことば

H13、7 会員No.38 橋本 比奈子

この春（3月末から4月にかけて2週間）2度目のダバオに行きました。が、インシュラー・ホテルが閉鎖中で向かいのサマル島のパラダイス・アイランドのコテージに10日間ほど宿泊しました。とても面白い所でした。

元会員の田口さんが紹介して下さい、船で5分位の所なので安全との事。前に海水浴に行った小島は一時間も船に乗るので危険で、もう行かないとの事でした。案の定5月になってサマル島の少し沖のパール・ファームが襲撃され2人が人質になったとニュースで聞きました。

絵について前面の山の左の肩に一寸覗くのがアポ山で2,954mありフィリピンの最高峰だそうです。

『ところで2001年6月にインシュラー・ホテルは再開したそうです。』

又9月頃ダバオに行きたいと思っています。

では又、皆さんお元気でお過ごし下さい。

### 2、バンコク週報を日本で購読。

会員No397 藤田 寛人

住 所：東京都世田谷区松原6-4-7-302 ☎：03-3325-3616

代表者：中澤 ゆう子 氏

年間契約：¥29,000-

### 3、会員の有志から寄せられた声

代筆 会員担当 酒匂 景輝

#### 1) 外国のホテル予約を会員に依頼されたら

会員の皆さんが外国滞在予定で予約を会員に依頼されて、キャンセルされますと仲介した会員の信用が落ちになり、会員向のベストプライスが維持出来なくなります。キャンセルの可能性がある場合はその旨連絡しておいて欲しい。（その場合は直接個人で予約をお願いする事があります。）

#### 2) 「南国暮らしの会」は会員お互いがボランティアをする会である。

- ・この会でボランティアをしてもらうという考えの方は（お客さん）会に対して失望する。
- ・自分が進んでボランティアをやれば心が癒され、各会員が1つでも行えば300の情報等が得られる訳です。
- ・情報、利益を一人締めにしよという人は、1回は良くて次回は無いです。

#### 3) 自己責任について

- ・会員であっても、全ての会員が善人でもなければ悪人でも無い。会員それぞれが全て自分で確認して行動すれば理事会などでそれ程心配する必要は無いのではないか
- ・会報等で、自己責任について徹底して啓蒙されている。本会に情報が無くなったなら存続に意味が無い。自己責任が前提ならば、不動産などの情報は何でもオープンにし、会員に選択の余地を与えるべきではないか。

### 4、私達はローズプリンセスホームを選択

代筆 酒匂 景輝

私達はこの度比国ローズプリンセスホームに長期滞在する事にしました。理由は私が病身のためリハビリが必要なため、自分に最適な場所はどこかを消去法で検討の結果がローズプリンセスホームでした。

住民票も移すように手配しました。

南の会は平成12年度で卒業し、出来ましたら会友として会員の方々との交流は従来通りさせて頂ければ幸いです。

現在マニラ界隈で我々日本人の口に合うレストランを探訪し、皆さん方の参考に供したいと思います。

## 5、日本人のボランティアに対する異常な思い入れ

代筆 酒匂 景輝

先日(7月29日)パースに居住し約15年という湯口様(42才)と面談(会員:高沢氏、藤本氏、酒匂で面談)する機会があり、短期滞在者向けのホーム(2ベッドルーム×3区画)を1週間で1区5万円で提供されているとの事、しかし金額については相談にのっているとの事です。

ボランティアについて、日本人が当地に住みだすと直ぐ何かボランティアをやりたいという言葉を出す。湯口様はまずこの地に根を下ろす事に専念しなさい。それが出来たら何でも良いボランティア(時間、経済的な余裕が出来たら)を軽い気持ちでやって欲しい。ボランティアはやろうと思えば何でもある。例えば道や海岸のゴミ拾い、草取りだって立派なボランティアです。

肝に銘じて欲しい事は人に評価されたいとか、見返りを要求する様な事、負担になる様であったら、やるべきではないという事です。

現地の方々は自然な形で出来る時、やれる当然の事をやっている。それで良いのです。

日本人はどうしても肩に力が入り過ぎている様に思われる。このような考えではボランティアは疲れます。紫外線での日焼け、皮膚がん対策について、我々黄色人種はそれほど気にする事はない。また真昼の1~2時間、表に出ない様な生活にすれば問題ない。

## 6、自宅を宿泊施設として提供

61	ル-シー 001-63-2- 塩見 祥昭 545-7937	・マニラ市内居住 ・会員ステイ用の部屋あり。	・1泊2食¥4,000- ・空港送迎(有料) Eメール: shiomi@compass.com.ph(ローマ字送信の事)
----	----------------------------------	---------------------------	-----------------------------------------------------------------

## 7、図書案内

### \*定年後実は第二の人生が楽しい辞典

著者: 舩添 要一 氏、 発行者: (株) 講談社、 発行日: 2001年6月15日、 定価: 1,600 円

オビ 世界一楽しくなれる定年後、元気なリッチに完全燃焼!

マネー、健康、住宅、ビジネス、ボランティア等、全ての分野で元気な「幸齢者」ライフを提案!  
天国に持っていかないことを決断すれば、若者の楽しみまで横取り出来る。

### \*年金・月21万円の海外2人暮らし

著者: 立道 和子 氏、 発売元: (株) 文藝春秋、 発行日: 2000年9月1日、 定価: 1,500 円

オビ 同じお金を使うなら・・・海外で暮らせば、リタイア後がこんなに豊かで楽しい。

・・・まだまだ売れています。・・・

### \*50歳からの「脱ニッポン」読本

著者: 戸田 智弘 氏、 発売元: (株) 双葉社、 発行日: 1999年10月20日、 定価: 1,500 円

オビ まだ30年は元気でいたいから、豊かな生きがいを求めて、熟年新人類は世界をめざす。

・・・まだまだ売れています。・・・

### \*老後をアジア・リゾートで暮らす

著者: 戸田 智弘 氏、 発売元: (株) 双葉社、 発行日: 1998年6月1日、 定価: 1,500 円

オビ 第二の人生を、第二の故郷で、のんびり楽しむ「脱ニッポン」読本

50歳からの新しい出発! 会社でタメ息をついているなら、自分らしい生き方を見つけ、南国アジアに飛び出せ! 長期滞在から移住までのノウハウを先駆者の貴重な体験はなしから学ぶ。

・・・まだまだ売れています。・・・

☆本屋にない時は取り寄せるか、最寄の図書館に立ち寄って下さい。置いて無かったら取り寄せを依頼して下さい。

以上

## 支部・部会伝達板

### §、調査担当より

担当理事 三井田 雅俊

南の会で第1回のツアーでフィリピンに、昨年はマレーシアそして本年6月末にタイの旅行をと、夫々医療事情も含めたロング・ステイ地を尋ねるツアーを実施しました。

ロング・ステイ地として適否、また将来の介護施設の可能性からみて、3ヶ国の状態をご説明致します。

項目 国名	政府の対応		治安	医療	コスト
	L・S	介護			
フィリピン	○	?	△	△	◎
マレーシア	◎	×	◎	○	○
タイ	◎	○	◎	◎	○

現状ではタイが最も期待が持てる国であると思っております。マレーシアはL・Sに政府も民間も大変力を入れていますが、残念ながら老人介護については全てといてよい程プランがありませんし、家庭サービスの為の労働力は比やインドネシアに頼っている状態です。

タイでは民間資本・政府そして医者グループが一体となって老人医療、殊に海外からの老人を含めて（極く最近のタイの新聞によりますとこの件についての国の予算措置が講じられたと報じられています。）の老人介護事業に取り組んでいると理解してよいと思います。

日本では、国家の医療看護に対する財政的な不安、不十分な施設、不十分なサービス、看護人の絶対的な不足、金銭的な高額な負担が強られ等々、誠に残念ながら保険があっても介護なしというのが現状であろうと思います。

切実に老人介護を考えられておられる方々は、日本での老人介護よりも環境的にもコスト的にも納得のゆける海外でという事が真剣に考えられているように思っております。

今回のタイ、ツアーを通じまして介護に関しての価値ある情報が得られただけでなく、政府関係者、医療関係者、民間有識者との知己が得られました。

南の会では来年1月中乃至下旬に1週間程度を目途として、タイへの医療・介護サービスを尋ねるツアーを計画しております。具体的な内容については、次の南の会会報の秋季号（10月中旬）にて皆様にご連絡出来るものと考えております。

1月のツアーは観光を目的としておりませんので旅行会社の手を借りる事なく、私共の手で2人でも10人でも真剣に将来を考えておられる方々の為の探訪ツアーにしたいものと思っております。

その際には南の会の新理事の方々の御指導をいただき三井田がお世話をさせていただくつもりでおります。その節は宜しく願いたします。

### §、事務局から

担当理事 ・高澤 弘晃

#### 1、メーリングリスト (nangoku)

Eメール交換可能な方は「南国暮らしの会」の井戸端会議はいかがでしょうか。事務局にて作成しました。事務局指定のアドレスにメールを頂きますと、登録されている方全員に同じ内容を配信いたします。全国の会員で井戸端会議如何ですか？ 自由にお使い頂けます。ロングステイ、移住の情報交換等。

・現在の登録者数は90名です。

(注) 会員の個人中傷、営業目的のメール及び気の減入様な暗い記事交換メールは絶対禁止します。

・登録希望者は、左記の高沢まで送付願います。・メールアドレス : fwjc5962@mb.lnfoweb.ne.jp

## 2、パソコン教室開催の件

平成12年度に開催しましたパソコン教室の継続として、1ヶ月1回程度開催を予定します。昨年度教室で勉強した程度ではマダマダとの声があり、面白くパソコンを使えるようになりたいとの声が多々ありますので再開する事に致します。

費用等は受益者負担で1回に千円程度の参加費用(教材、会場、講師費用など)を予定しております。

**\* 詳細はメーリングリストにて発信します。**

◇平成13年度から高澤は南の会業務分担の事務局担当(まだ現役ですので多忙の為)を退き、広報を担当する事になりました。今後は会発展の為の広報活動を展開したいと思っております。

・メーリングリストの管理者として益々の充実を図りたいと思います。

・インターネット委員会リーダーとしてパソコン教室の定期開催により、気概のある会員の方々がパソコンを駆使出来るようになり、又将来全会員の方々が外国で暮らす様になっても、お互いの情報交換が容易に楽しく出来る様になれば、外国での生活も一層楽しいものになると信じております。

これは私の夢でしょうか???

・インターネット委員会でホームページの充実化を図り、未会員者に対し呼び掛けを拡充したいと思っております。

今後は宮崎氏、菊地氏が事務局を担当されます。南の会発展の為、旧来に増してのご協力をお願い致します。

## §、広報担当より

担当理事 宮崎 哲郎

平成13年度から宮崎は事務局(新理事予定者の菊地功氏)と、関東支部(新理事予定者の足立洋太郎氏)の諸氏と協力して担当する事になりました。皆様方のご協力を是非お願い致します。

さて前掲の関東地区情報交換会の年間計画を企画しました。万障御繰り合わせの上、全国からのご参加をお待ちしております。(関東地区にお出かけの節は声を掛けて下さい。)

## §、経理担当より

担当理事 川上 雅久

この度継続会員の一部の方々から寄付金を頂きました。本来はお礼に伺わねばならないのでしょうか本書にてお礼申し上げます。寄付を頂いた方のお名前は次の方々です。

- ・会員No.155. 宇井 泰業 様 ・会員No.231. 高山 不二男 様 ・会員No.232. 佐藤 朗 様
- ・会員No.236. 富成 智枝 様 ・会員No.249. 岡村 欣二 様 ・会員No.340. 根本 守宣様。

誠に有り難う御座いました。

## §、会員担当より

担当理事 酒匂 景輝

1、平成13年度会員について、(1)平成13年8月5日現在の正会員は315名(継続会員:233名、新規入会者:82名)です。(2)平成13年度賛助会員は2社です。(今回夏季会報の広告掲載)  
(3)会友は4名です。

2、会員名簿発送について、平成13年度会員は8月5日現在で会報を纏めましたので、夏季会報と同時に発送出来ます。大切に保管し外部へ漏れない様にして下さい。尚今後の入会者の追加名簿は今後の会報と同時に発送しますので、本名簿に追加ファイルして下さい。

3、規定集編集委員会より 過日の総会において承認されました定款、細則等の改定に伴い規定集を作成し皆様にお届けする事にしています。この件につき規定丈の掲載ではなくもう少し突っ込んで会員の皆さんに常に携帯してもらう『会員必携』にしようとする方向転換し現在編集中です。印刷を9月中旬目標にしております。もし『会員必携』の掲載について皆様方にご意向がありましたら至急ご連絡頂けると幸いです。



◇平成13年度会員担当は、酒匂と会員No.315 鈴木氏（新理事予定者）で本業務を担当する事になりました。これでお互いに長期滞在体験が出来る体制になりました。

## 8、会報担当より

担当理事 酒匂 景輝

1、平成13年夏季会報を予定通り皆様のもとへお届け出来ます。これも皆様方のご協力のお陰です。誠に有り難う御座いました。今後とも宜しくお願い致します。

**会報に投稿して下さいました皆様方誠に有り難う御座いました。本会報にて厚く御礼申し上げます。**

### 2、会報担当理事交替の件

理事の業務が偏らない様に理事を増員し複数制にする事になり、会員No.148：足立洋太郎氏とNo.280：小川護雄氏のお二方に担当してもらう事になりました。今回の会報もこのお二方に全面的に協力して頂き立派な会報を作り上げました。

今回は引継ぎの関係もあり酒匂主導の会報になりましたが、今後は一味違う充実した会報に育て下される力量の持ち主です。が、これも皆様方のご協力がなければ成し得ない事です。今後とも宜しくお願い致します。次回からの会報をご期待下さい。

### 3、会報原稿及び表紙絵投稿者は下記にご送付下さい。

◇宛先（1）会員No.148：足立 洋太郎、 Eメール：adaci@kk.iij4u.or.jp

住 所：〒234-0056 横浜市港南区野庭町 108-1-802 TEL/FAX：045-846-3053

◇宛先（2）会員No.280：小川 護雄、 Eメール：mo.ogawa@mx10.ttcn.ne.jp

住 所：〒215-0015 川崎市麻生区虹ヶ丘 3-1-1-201 TEL/FAX：044-986-9052

### 5、会報編集委員

今回の会報編集には新任担当（新理事予定者）の足立洋太郎氏、小川護雄氏、委員の高澤理事にて編集しました。

発送及び校正に協力して頂いたメンバーは、No.3 池田徳三郎氏、No.115 富永来久夫氏、No.148 足立洋太郎氏、No.183 吉岡秀一氏、No.270 城野伸夫氏、No.259 菊地功氏、No.280 小川護雄氏、No.315 鈴木剛氏、酒匂ファミリーの協力を得ました。ご協力の皆様有り難う御座いました。

近年にない猛暑の夏を皆さん如何お過ごしでしょうか。南の国で暮らそうという皆さんにはこの位の暑さは“なんのその”と乗り切っておられると推察致します。

会報担当を何とか乗り切れたのは皆様方の寛大な御心のお陰と感謝しております。誠に有り難う御座いました。

皆様方のご健康とご多幸を祈念しております。



『日本女性の主婦業からの解放は南国暮らしにより実現する!』



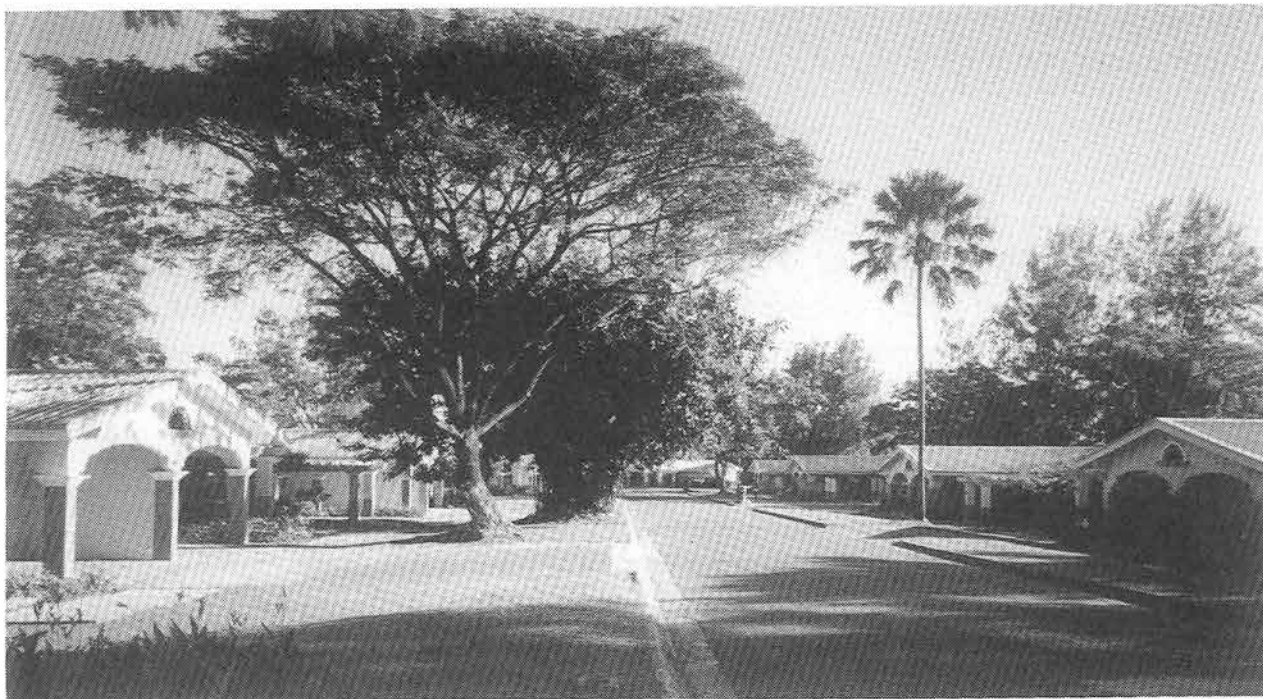
**自己責任\*納得の上\*自己決定**



発行者 特定非営利 活動法人 「南国暮らしの会」 理事長 池田 徳三郎

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-2-809 TEL/FAX 03-3947-8977

## 広告



写真：フォンタナリゾート内イスタンブール通り

## フィリピン、クラークでアメリカンスタイルのセカンドライフを実現しませんか！

- ◇ アメリカ空軍基地として整備されたクラーク特別経済区は、今では国有地として確かなインフラと広々とした豊かな環境、それに安全面でも申し分のない完成された生活の場となっています。
- ◇ 免税特区のクラークはあらゆる商品が安く揃う買い物天国です。
- ◇ クラーク内の広大な敷地を有する“フォンタナリゾート”は空軍将校用住宅416棟をビラとして完成させて、ゴルフ場やウォーターパーク、テニスコート等諸施設も整え生活をエンジョイさせてくれます。
- ◇ 公害のない緑に囲まれたリゾート内ビラでは、既に6所帯の日本人ロングステイヤーと現地進出企業駐在員6所帯が生活を始めています。
- ◇ “フォンタナリゾートビラ(2LDK、116㎡)”の15年間のロングリースの契約金はP2,500,000.- (約¥6,000,000)という安さです。  
\*ビラは契約者の名義となります。また、フィリピン政府機関より期間内所有者である保証を受けます。  
\*もちろん、転売(リース権)も可能です。\*
- ◇ フォンタナリゾートでは、体験滞在のほか、空港からの車の手配、クラークのご案内も承っています。  
1ビラ当り・・・1泊 ¥7,000.-、1週間 ¥40,000.-  
\*フルファニチャー付きのフォンタナビラは、2組のご夫婦4人でも十分くつろげる広さです。\*

◆フォンタナリゾートの詳しい資料をお求めの方は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。◆

フォンタナリゾートアンドカントリークラブ  
日本総代理 田野瀬 博太郎  
〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 2-5-13  
TEL: 06-6683-4912 FAX: 06-6682-3433

フィリピン住所  
VILLA NO.3916, FONTANA LEISURE PARKS,  
CLARK SPECIAL ECONOMIC ZONE, CLARKFIELD  
PAMPANGA, PHILIPPINES  
TEL&FAX: 63-45-599-5899

## アルカピア倶楽部は「夢」を実現します!

「アルカピア」とは、アルカディア「理想郷」とユートピア「地上の楽園」が融合した。新セカンドライフの提言するキーワードです。

アルカピア倶楽部は  
第二の人生を迎える  
方向をサポートします。



年金だけで  
ゆとりある豊かな  
生活をエンジョイする  
そんな倶楽部です。

「アルカピア・クラブ・ヴィレッチ」で、南国暮らしをエンジョイしては如何ですか。

「アルカピア・クラブ・ヴィレッチ」の活動

- 1・海外ロングステイ（メイド、運転手付で家事から開放の生活）
- 2・充実のメディカルサービス（緊急、夜間の往診を含めて定期検診まで）
- 3・留守宅のホームセキュリティー  
（留守宅を管理会社と常勤スタッフでお守りします）
- 4・海外語学研修プログラム（リタイヤしてから身につく英語）
- 5・観光（ゴルフ、テニス、スキューバー等）の企画手配  
（思い切りやりたかったスポーツや観光が実現）
- 6・分譲建物購入及び賃貸物件の相談、情報収集  
（年金で貯金もできてマイホーム購入）

\*当クラブの分譲地は、マニラ空港から1時間の複合都市型リゾート地内  
（カピテ州ゼネラルトリアス）に位置しております。

販売価格帯は980～1,100万円台です。

- 7・ボランティア活動（趣味を生かしてのびのび生きる）

\*アルカピア倶楽部はこんなお手伝いを致します。

（説明会は9月22日に開催しますので、是非ご参加下さい）

株式会社アルカピアジャパン(TEL:03-3221-6480)

詳細は当社の巴（ともえ）、川副（かわぞえ）迄、お気軽にご連絡下さい。

